許さす、村は世界平和の維持の上で、本部の手段以外の数部を表せると、如何に正常にして有力なる。 中和の手段以外の数部を表せると、如何に正常にしてが力なる。

なる正常自衛行動を提致するを見なる場合においては、該國は自分を規範又は 極端

て夠くの平和論者は便被國際職盟

類例を見ざる新命

ちの、選輕機本師治療を纏さすも、 たぶ臓する良薬を乗へなければな に遮臓する良薬を乗へなければな

の感更を表むる如き、瀟洒を聴

滿洲を騙り

駅の如きは単り徒

別國萬酸な三咄し近來稀有の監察 の殿静あり、一総民衆な代表して

日本側の整覧代表二宮殿兵司令官等の融詞が代讃され、之れに對し

の間に軽重あることな

は、乳も自衛権なるものは、法廷で有完全に認められる所にあらずや、智官を完備する國内法においてものなりを行うといる所にあらずや、とは野祭に待つ送もなく自衛に出って、これ野祭に待つ送もなく自衛に出って、

吉林旗人が執政に接見「點環画

を開いてゐるが、

マカー日登) りが代表部に成した決議教が小委を見たので、些か然眉を見合の標。 対が、 対版委員會の標

おきずる事等の 名さする事等の

つてるる、耐して常任委員會 であ事等の要項は焼ぎ決定し であ事、その季度敷を十八 である、配して驚低季度會

ネシユ窓に近き決定を見る

起草了る

料委員會はまだ能識を了す

のであ

3

際條約神聖た支持

麥 简 官

高さしては何でも申上げられぬ が三千萬民衆の輿望を貢ふて執 が三千萬民衆の輿望を貢ふて執 が三千萬民衆の輿望を貢ふて執 が三千萬民衆の輿望を貢ふて執 が三十萬日衆の輿望を貢ふて執

溥執政分弟

溥傑氏談

のである

・三日頃長春へ行く

正式可決の役取さしたいしているのでは

上げた中止し、米公使ジョンソン上げた中止し、米公使ジョンソン

引揚中止 米聯隊の

上海

祝賀飛行便乘記

春光に躍動する大地に

運國祝賀ビラを撒

總會を再召集か

紛爭解決せざる場合

▼…記者は新くて力 めたビラな窓外の窓下 と投げ落した、窓風に

一杯語りし

電魚の如く地上に落ちて 満州國家萬俊」の伊

「着州國家萬談」の銀行は天降る が顧まつた記者は汗ばむ手に最後 が顧まつた記者は汗ばむ手に最後

の見が學生から成る

一般のて響

門たる昂雷

電 て飛行場へ、十八分の飛翔を終って整陸した、全市四十萬民衆に歌い、ホテアの大魔を野歌が響見する間にで飛行場へ、十八分の飛翔を終って整陸した、全市四十萬民衆に歌い

れば今日

意を表して(奉天支社一部者)

でも、なのでは、 を が、ないでは、 ないでは、 ないでは、

の歴況さであった『長春電話』

重要法令協議

一座總會召集が要するものらもい 公表す、に屍酸され第十五條第四 は公表す、に屍酸され第十五條第四

國際聯盟主支

問題

は、 原本和の維持のために維紋國及法 によって職当せられざるべからざ によって職当せられざるべからざ

ればなられる

して明確に譲解せるむ

能に線解せしむることが、支那を実際なることが、支那の方でられざるべからざ

在る、此等

の途なからむか。

附し、特殊に

さ

に配って之を築止しなるに戦野谷崎の撤戦を

石

井菊次

てもが然りで、自衛機は其必要

の違反に對しては日本がの違反に對しては日本

代表部成行きを注目

小委員

會

い響を及ぼすので十日

に請訓する事さなつた、佐て一般委員會は十日午後か、十一日に開き懲會は來憑早々さなる見決支総罪を全般に取つて取扱ふさもてゐる監は、滿洲事件を含む事となるからこの『ジュネーサ十日發』決議交過率委員會の大勢は既に決したので、日本代表部は九日夜直に纏着製

點

重大問題なりとし政府伽語したが、右草家甲に職職が日

財政部次長

軍政部次

民政部次

日本軍の撤退方法に限定し、

國民

政府態度を協議

決定する模様である、

國民政府館の情報によれば

交渉開始さるとせば英、米、佛等は参加せず、戦時は後加せず、

國民政府の

外交部總長

立監法察

院院長長

財政部總

葆孫王馮丁張熙謝馬臧鄭 其靜漢鑑燕 介占式孝

その機能組織が計

政治を期待

れた《長春電料》

西儀氏の

に眠る大倉喜八郎氏である儀比の執政就任を最も

民政部總長

織に壁更するが未然にな

ある、更に成は他の組

さ見られてゐる

新國家の法律

政府から公布

國政府閣僚を左の如く正

正副議長は登奉天省長は

親任式る

閣僚

東京な立東京な立

は 場のまはずに就いては 運転の東京生活数年間の

依然が

本京を立つて長春に行へ達の勧めに從ひ來る

發表

とろ

は重

發」動光

公使の位



期目銀胡一寫讀石版 舌成製版的 電部三六九一番・大連越後可四十四番

湖、上海事代野、電時讀會召集で明十分開公を訪び現下財政総選派、金融界審事情、滿別の一般規念、金融界審事情、滿別の一般規念、金融界審事情、滿別の一般規念、金融界審事情、滿別の一般の一般の一般の一般の一般の

藏相園公訪問

ニングハム並に来ノ

た記載と東國軍事婚院を培職して によば近に上帝馬融の耐傷機能

安保大將戰線視察

集權制

確立

相當の時日を要せ

の他につき報告懇談した 支那軍待機狀態

支那政府の

その総轄な認恵してゐる、その総「南京十日發」が既、るに支那政 軍事區域

重光公使、英公使を通

に交渉

開始提議

支那側

▲長江流域 ▲黄河流域 ▲特部表 上海周圍 防備擴

は日本軍が南京に進撃し來るべも と は日本軍が南京に進撃し來るべも

各地に防禦施設

を爆破すべく潜水巧なるものを機械水館を敷設して延浪中の我軍機械水館を敷設して延浪中の我軍 對日軍事會議 して上海に送るなど最後の苦 | 『上海十日登』安保大路は午前十十十分出盟艦上で英艦線が全官ケールを得の登読を受け十時中から
| 上海附近岐線を視察も像顔兵総散をです。 名古屋婦人の 血染の國旗

崑山附近に集結し

新満洲國家最高機關の人事低命も を記して長春を離れるがこれがな天、吉林 大嶋新た雕台、原出山の三氏が栽低することが、の整確との発展等の分を埋する大長の教職という。 大嶋新た雕台、の三氏は近く相前後し、 がこの整確との一大郎がため程する大島のの報繁等の分権がであるが、これがため程する大長の分権がであるがこれがため程する大長の分権がである。ことが教伝することになるであらう。 でては根管の時日を要する大島の分権が定じ、古林 関されてゐる『長春電話』

金州の祝賀

讀方 お の の

立法院長未決

本決定の宣法院長にはかれて超成 はやがて満洲國が帰國に公使な設 はやがて満洲國が帰國に公使な設 はやがて満洲國が帰國に公使な設 電家施六千の配給も新國家の陰晶を壽ぐが を上で物に離緩の響倫全く整び新 を上でがに離緩の響倫全く整び新 を上でがに離緩の響倫全く整び新 を上でがに離緩の響倫全く整び新 を上でがに離緩の響倫全く整び新

法院長の椅子は道氏に落つくものでた分活動したもするが結局で のて充分活動したもするが結局で 日の午後一時から脱賀式に入らん さしてゐる城門の看際を一瞥すれ ば祭戸には行燈道應文等を掘付け 大祭戸には行燈道應文等を掘付け 一方、脱賀気も目前官氏二百餘名 の多きに上り未曾石の盛會さなる でく対許金州はゴッタ返してゐる。 西本願寺

薄儀氏に配品

政府に伊候新振士氏や道路及び大谷光郎の代理さして開始総長、津村雅郎の代理さして開始総長、津村雅郎の代理さして開始総長、津村雅郎の代理さして開始総長、津村雅郎大び岩大谷光郎及び大谷光が東京により、東京の大谷光郎の代理さして開始総長、津村雅郎大び地域を表して開始。

對露國交回復

行令朝洛陽から南京着、

感激、歡喜の市民

一萬餘名のデモ

昨日長春の建國祝賀

の色紙を天空に打ち撒き、えもい唱、概を打ち振つ、敷萬林の五色 央全體會議で野路國交回復問題に

れ、強硬に反響したためであ 口副總裁の

まれ、全市民の家殿銀倉分は熱猫で とは、早朝から殿殿と観査の色に包 は、早朝から殿殿と観査の色に包 は

さ萬巌に打ち続う

上京延期 で、之は王正廷が英米の誤解を恐つき他等決定を見ざりし事判明し 流銀江口副總裁は村上、首藤の雨

いて重要能量を開き条部次長の人は十十級性式終了後假執政所におは、計算機能式終了後假執政所にお 理事、斯波斯職等を共に十一日出 戦のうらる鬼で上京の筈であつた が上京用館について基邦共内田總 が上京用館について基邦共内田總 大郎に活動すること、なった 大郎に活動すること、なった がであるため情や理事も一行と 地に上京賞職理事と協力意と 経常であるため情や理事も一行と までは旅客機を利用して上京する
を含語があるため総規総関あたり
合含語があるため総規総関あたり 波峰間のみ十一日出数すること

最後に來る要項さしては、自衛 盛 觀を呈し

奉天の建國祝賀會

參會者千餘人

をは、十日正午より常致府大震堂に は、十日正午より常致府大震堂に をは、十日正午より常致府大震堂に をは、十日正午より常致府大震堂に が総るさ賑やかな奏樂禮に潅漑し の他合せて一千駿百名、一同架養 の他合せて一千駿百名、一同架養 の他合せて一千駿百名、で は が終るさ賑やかな奏樂禮に潅漑し が 寒腑くして鹹谷長官、並に塩市長がきらびやかに居越び未曾行の盛

本校 進則 呈見

の英語リーダー(会会) が英語のカード(月1回) の英語のカード(月1回) の英語のカード(月1回) で英語のカード(月1回) で英語のカード(月1回) 麻敷・一ヶ月一間台銭 大附錄贈呈

一れの宅もらら「経英今平るの社り語語と見る成獨毎開の有好語こ和人扉會第はでそを満る。 見る成獨毎開講者のをそ來には各二既はれ見満ら先がで二小座なチ準飛!の、方のになら給するイ新ら先がで二小座なチ準飛!の、方のになら給するイ新ら先がでは中時學は限や備躍好み英面日常い總へるイ新は見證學間卒三とンすの况開語に本識かて。片ヂ聞!本せ以の業月耳スる武來くを出語で?は何假にのをら上自者かかだに器!!。知世だあ英英ん名充一



· id

藤特派覧)は九日同地に然行した ・ 大の安否をたゞすべく記者(職 ・ 「職人の安否をたゞすべく記者(職 ・ 大の安否をたゞすべく記者(職 ・ 大の安否をたゞすべく記者(職 ・ 大の安否をたゞすべく記者(職 ・ 大の安否をたゞすべく記者(職 ・ 大の安否をたゞすべく記者(職 ・ 大の安否をたゞすべく記者(職

一大震にか色さりた。の ・大容解車場は路響處の警官が平性通 が、注ぎ不解味な感に襲けれる。こと た、注ぎ不解味な感に襲けれる。こと にソウエートには近づかないらしい。 ・大きな味な感に襲けれる。こと にソウエートには近づかないらしい。 ・大きな味な感に襲けれる。こと にソウエートに対する。 ・大きな味な感にいない。 ・大きない。 ・大き

東支の機関車、貨車其の他の材料である、又価格がかり、ニコリスがある、又価格がかり、ニコリスである、又価格がかり、ニコリスである、又価格がかりこうな状態にはが近れ今にも開戦しそうな状態にあると同じない。 嵐の

本日臨報を添ふ

長の暴虐に堪へすらて邦人全部引

株式會社東洋拓殖會社總裁被 使腳株式會社東洋拓殖會社總裁被仰附 東洋拓殖會社總裁 菅原 通敬

學術的研究に基

Z

滿洲農業施設立案

日左の通り發令された

【東京十日数】東拓總裁更迭は本

が明瞭さなつたので臨時議會前特別は内棋自身は静低の意思なき事

| 神智粉局長さ同車して来低した、 車にて来低した、車中指輪警約事 車にて来低した、車中指輪警約事

追

を特に破機の退品を以上を前の亦織を録せられる。 を前の亦織を録せられる。

であり、かつ一潔原野でもあつた は「腹る野宮でいろ」(面白いエピ ソートがある人曾て体藤塚交公の ツートがある人曾て体藤塚交公の

を述べたが▲公は何を

一治の上十日午後四時五十分養列の上十日午後四時五十分養列の上十日午後四時五十分養列の上十日午後四時五十分養列の上十分養列の上十分を利用の上十分を利用の上十分を利用の上十分を利用している。

辭任せず

陸相語る

意見其陳する所あつたが陸楸は語 調査研究中であるが來る十二日顧代をの他國家の重要問題に對する ては目下滿洲における影架狀態の鬩寺公も訪び滿洲新國家、上海事 【東京特體十日藝】掖移省におい【東京九日發】荒木陸根は九日西

拓務省が専門家招待

內地米見積高

古地の音に

| 彼久良氏のために市會

清島、渡邊兩氏は交

が、その電点は「大き市政権と続いる」と、その電点は「大き市政権と続いるない。」といる数年前、大連市政権と続いるを続いる。

重要低級を帯び近くを報 電十日**観**】探粉役の際符

皇軍の東部線進出に

警戒する

東支の貨車牛敷を持出す

|孤立無援の居留民を訪ふ| 不安の國境都市ボクラに

白さら露人は全く殿重な監視付で であるので赤

好きの魔西亞人が相互に立話しな日本人では經難接近しない、又話

相常あり、麻袋は壁らず 組助 六月限一五四三 一〇 同 同 一五四二 一〇 同 一五四二 一〇 同 七月限一五五六 二〇 同 八月限一五五六 二〇 日 八月限一五五六 二〇

日家であり、只一人して競が新國日家であり、只一人して競が新國日家であり、只一人して競が新國の工程を表別を表別をは、然と墓軍の出動に依て仕郷で、然と墓軍の出動に依ては郷本・郷カノウエート解析を表別を表別をして、大田のエシア人に黙しては領事

ないます。 ないます。 ないますが、 ないますが、 ないますが、 ないまでは、 ないまだ。 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 で

日

がある。之れを王道さ云ふ。國和平主義を基礎されてい。之れを人たるの諺を発れない。東洋には古來には除りに狹い。東洋には古來知の道德、人類の仁愛さ稱する類の道德、人類の仁愛さ稱する人類の範圍内に於ける道徳仁愛

聯盟委員

態度には真に敬服

四月下旬に來滿豫定

すらさは傷中

おけ知りませんが三月分の月 脚を二月廿九日婆に納めよさの脚を二月廿九日婆に納めよさの

ればかりか今年は如何なる原

父

等を笑ふ人は笑ってど

接待役を勤めた河相外事課長談

及び騒員は流不輸型選り抜きの名土だけに皆立派な人達である自分は一行について一週間程居ったが、リットン卿等は日本ののたが、ビットン卿等は日本ののたが、正直なる應接振り、誠意ある態度には非常に満足して砂た 流 石にみな 頭のよ

會等も断ることもありは良は常に事務的で熱心であり特長は常に事務的で熱心であり特長は常に事務的で熱心であり特長は常に事務的で熱心であり

でも解費も澤山ありませんも、 型役で修繕してゐますが、學校 学校で修繕してゐますが、學校

り計らつてます。

ほんこん丸船客

政務調査會な開き選舉法或正特別。『東京十日餐』民政憲は九日午後 民政政務調查會 整け松田源治氏以下七氏を駆けた野ばた野は一般の一下七氏を駆けて火船や瀬正委員會を ◆ 単校から 摩宅した子供の話を 開けば 學校に於ける 破視した壁、破れた 職子、 黙秘等の代金さして 或る級では五個の負擔をなす ここであります、 想等は 観をなす さのここであります、 親等は はまた であますが 聚してそれが 如何なるますが 聚してそれが 如何なるますが 聚してそれが 如何なるますが ないことである。

滿鐵入社希望者

本年は特に多い

と胸が喰の者四十五六名、事物がにおいて本年度採用すべき社員は [東京特體九日韓] 消鏡東京支社 七十五名採用に二千名應募 なごさ、相談に來る向きもある 方面の注目が總べて、満洲に向 つてゐるこさだけは、否定出來 ない事質である

拓務省ご

八二三五、五〇一石 一、四三、五八六 一、七〇、一八四 一、五八六 四三、五八六 四三、五八六 四三、五八六 四三、五八六 四三、五八六 四三、五八六

打合のた

就任受諾の理由

高山新東拓總裁語る

着任 三澤水上署長

上京を前にして準備打合せには 村上理事上京

京響長三澤重義警視は去る五日前 京響長三澤重義警視は去る五日前 京響長三澤重義警視は去る五日前 念にまた用事が出來て實は十一日の船で養てないかも知れぬ、然心十六日までには是非共上京となければならぬから、も心船に乗れないとなれば飛行機を利用するかも知れぬ、僕の用事は拓務者との打合せが目的で事變を納れな情況報告は一度もして

透・報言筋震ら 男 大阪 付 あ 変 進言 十

辯護士會總會

卒業生送別會 生高女生、一同は十十年後 生物が主になり合唱舞踊が主になり合唱舞踊が主になり合唱舞踊が上れまり合唱舞踊が上れまり合唱舞踊が上れまり合唱舞踊が出る。

であり、かつこ あの老年でいったでは、確に大連の一異級でもあった

二二二後 五二四後 五五五四 九五四

二二二後

進みさ共に國際職盟が転の き輸出ビルの出廻りに利喰が である。

市況强調

男々買手買つかず高値に

▲内田庭哉伯(滿鍛槐裁) 十日二十時着列車で奥地から隔速十河信二氏(滿鐵理事) 同上十河信二氏(滿鐵理事) 同上人で接受資氏(陸軍歩兵大佐) 同上人後宮淳氏(陸軍歩兵大佐) 同上人後宮淳氏(陸軍歩兵大佐) 同上 電談に、新任大連が上署長) 同上職政に、漸級秘書役) 同上職助氏(漸級場託) 同上職助氏(漸級場託) 同上職助民(漸級場託) 同上

不不不不七不九一四八後場 四〇二六引

各品反落

一四二四四、六五九 一一五、八八一 一六、一三六 一六、一三六

本社は守十一日「滿洲西建岡記念號」
な数石・受調者に配布もま
を計
の数石・受調者に配布もま

賣發:愈·說小。題問

を常市は剥含み商駅を呈す を常市は剥含み商駅を呈す

內地株保合 當市弱含み

市 况(十 世)

◆又月謝に就て毎月四日送の定め間ざしてゐます。

不四三一四四八



復だどにか一入處愛は男は変なれて、 でろの場合である。 一人の場合である。 一人の場合ではれてはない。 一人の場合ではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人ののののののではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人のののののではない。 一人ののののではない。 一人ののののではない。 一人ののののではない。 一人ののののではない。 一人ののののではない。 一人ののののではない。 一人のののではない。 一人のののではない。 一人のではない。 一句ではない。 一句ではない。

は何を秘めてゐるか? 小記簿推敲彫琢 加へられた。 を懊惱歡喜せしめた名

他 でとではない が足元が危 が足元が危 が足元が危

粧品は

電話六六〇六番 寺藥 局

りずつさ安く並で七圓三十錢からなさころから抗魔式のものが一般に受けるやうです、他際は昨年よれでころから抗魔式のものが一般

歌をごく歌僧に即覧もすれの各種にわたり信用ある感

十銭以上の覧上げなうたがには市ってるます、館會場で一日二圓五一つてるます、館會場で一日二圓五一

電話五八二一門建高級

登家 若狭町二二

の技術もしますと毎日五百名を限って森水繁集會社帯館の樹本キャ

附属安居アパートで 料調書館庫

鶴見

商科

電話八二〇三番

満洲牧場から寄贈した特乳や湯茶

貸家 花屋町及水が

やうに工夫してありますからこれがネかさりつけて頭にひどかない

が、今年の新種は単盤のさころにはあまり総が出来なかつたのです

カタボウサ

3

お子たち

第古 三河町

木病 請合樂、特製大博士あり大連沙河口大正通八五 三共高の大連沙河口大正通八五 三共高の大連沙河口大正通八五 三共高の大地上の一大連沙河口大正通八五 三共高の大地上の一大地が大地にあり、特製大博士のリー

"

0

老

2

2 8

力

1

12

親

の慈悲

譲店 婦人、子供 婦人、子供

大連沙河口大正通 三共商會
の一服は病後の百服に勝

店

派附家

ミ大き ツ市社添政

でせうがこれも五圏二十銭位かンドルのついた四戦の子供印輸の子供印輸

五間九十銭からありますが中學生

部書物典式を銀行することになり 中師を動してそれら、盛大な卒業 中師を動してそれら、盛大な卒業

貸室

貸間

ろこばれる三輪車が二<u>圏二十段かまでです、四五歳の子供に一番よ</u>

0

卒 連

業 市

日 各

取 り學 ◇ 校

貸間 響生希望三

モミ

戦治が望みの方は

電四六九二番

町二〇一番 電八九四八番

市事者狭町入左下車者狭町入左電三七八九

式內

女

に生れて間らない赤ちやんなどにこれてれて間らないがはいなりの動はでなりの動がはけらいための動がはけらいため

国際に会議します、保護所では特に 海 時の二時におたつてパテーマピー 海 時の二時におって子供のよろこびさ 海 によって子供のよろこびさ が催す場。第一世のようこびさ

乳母車や三輪車にのつた小さい子

書すぎ

を歩

日午前九時華々とく蓋を開ける事 洋行の新譜レコード、コンサート用品職合威勢(戦闘者はいよく十一通り候戦さして日蓋支店並に山栗本社主催の學生版、學用品及子供一の申込にも懸する筈です、監報の本社主催の學生版、學用品及子供一の申込にも懸する筈です、監報の

登家 いろくあり

田部井

務所爆馬

小鳥質名種野の大連市の

で見る古一番の

成各

借度に住宅、屋の

カヤッリの葉を一寸位の

いのは四、五日で根を下ろ

サマ

くつも挿し芽が出来ます

のやがて端さ行く若い人々に贈る意楽は……?

IJ

草(シベラス) オーカヤツリ るますがこれは遺傳

る、同じなのです、精融病にしまし ダレカノゲンコ れてるます、大殿場や中央企園のた子供にちの姿が、数日來のこの してごこもこゝも子供等のはちきれて過一般には來にこびだ

春の乳母車

昨年より大分安い

信用ある店の

確實な良品

賑はす餘興ご接待

學用子供用品の陳列會

れてあます、程の並揚から総版されてあます、程の並揚から総版された前の娘さん在彼女らのお母さ

◆西洋の自由な思想が日本へ輸 できないのです、で先づ結覧の第 なんがへも同様に希望至します事は 歴に思ふ覧に揺戯前の悪好がお 近れる前の観さん否微好らのお母さ が進歩してゐるさは呼しながら遺れる前の観さん否微好らのお母さ が進歩してゐるさは呼しながら遺れる前の観さん否微好らのお母さ が進歩してゐるさは呼しながら遺れる前の観さん否微好らおおいさ に健康診職者の変換を祝つてゐな と、 できないのです、で先づ結覧の第 本、の声音の自由な思想が日本へ輸

幼い魂を育てる するが性の智能がない際です。 本では彩だこのやうな本が多く豪 ません、そのためかこのが配に壁に ません、そのためかこのが配に壁に



邦文 短期養成 **琴古**流

智字 連成教授 三河町 連内 **貧家** 八、六貫十六

名浪町一

貸家 優斯八九貨三〇電台 風呂庭付貨三〇電台 風呂庭付貨三〇電台 美濃町九五畳山ビル低入大連近 で「即時御用立致しまな

「一年家六、四半、賃格の

貸家 住宅兼店舗

要る番犬、警察犬、 好大並に種付仲介 大連市大江町四番地 大連市大江町四番地 大連市大江町四番地 未成犬、 お質に備られ

電話二一〇匹七番 電話二一〇匹七番

院長伊藤義麿電六四七三須即停前大連時愛家畜桐門實費診療祭乢二惠比

門札瀬戸物へ

7 大連編音洋行電三八一二人議律修繕致します

金融

不用 品高價買入河根次第参上 古着 其他網不用品は他店より 日盛町 エペスヤ電話二九一四番 大谷商店 新報念上高價買入河根次第参上 日曜町 たじまや電話二二五九五 加報念上の電はとり 姓産 精實教で預ります、青木 、 諸 次 次

牛乳

牛乳 大連牛乳株式會社電四五三七番 重量物運送 海陸運送 通關代辦 大連市或歐立一語遊解代辦 大連市或歐立一語遊解代辦 大連市或歐立一語遊解代辦

女給 入用本人來味

和服談計五

女給 数名入用本人

ヨナルパー

常陸町渡

フョ

引越荷造 海陸運送 通關代辨 大連市 武藏町七 增田貨物自動車運送部 **電話七三七〇番**

一般質物何でも特別勉強 シン機蓄音機 シン機蓄音機 シン機蓄音機 シン機蓄音機

専門の事門の事門の

電四九一六番

神食 電ストーブ (注文に作う) (記入 トーブ (注文に作う) (記入 トーブ (注文に作う) (記述 式 (記述) (記 大連市信濃町二四

二不 大連市樊町二番地欒列ビルニ大連市樊町二番地梨町停留所前と 謄寫版

派遣

西通九三滿電クラブ前題切に手ほどき致ます 實生流話曲

大連市世 佐 佐 神 佐 神 話四五五二番

庫教訓

報便 二十球 登幽五 拾頭 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四九一

魁け

ろ

(可認物便郵應三萬)

セイロン、 様になってゐる葉の 觀葉植物の挿し

大連園藝會

り日常のよい温かい所に出しますと、変のはいて大きい水盤にうつすと表しましたら水盤に出きますさ に生長します、変の続い日に凝砕際の濃かい所か湿室におきますさ に生長します、変の続い日に凝砕しまの間から新芽を出します根を 繁るに従って大きい水盤にうつす

Ξ

の種の葉の繁つた草は葉の先を

ト(金壽梅)

健康狀態を調べるここ

でつく素晴らしいのでも

水明莊海岸 杉浦

電九四二三

貸衣

零 日陰町 三浦屋

宿

二〇七紅葉

住衣 奥斯蘭州 登本 奥斯蘭州

不用品義實

| 信濃町市場前

電五二九三番

湾速町二丁目裏通 日際洋行

建築 左極建築事

商品

西通三五電車通過 泰勒莱债

清林トラ

三シ ン第古教資交換修理荷造

邦文 印画 應

旅

運

青野町 の御用命は

◇嫁ぎ行く人に贈る言葉◇

婦人科學長原正平氏談

七

よれてゐる部分を切り

相手の血統と

氏談

◆一見健康ぞうに思へても實際 こしました。そして、二人して から狸をおこしたのです。狸

きました。きい、きいしてない。 た、窓は、蛇ながこしまし 「わしは、驚かおこしてやるか

会は、高い艦の木の橋に眺つてる。まひに、郭公かたづれました。郭

旗野 二郎 いきましたの

『郭公さん』 「なんなの、

店員

算盤

の御用は

きずつて、櫛をつたつてのぼつてかれた體を、また、するくしさひ かく一目をさましません。蛇はつが、郭公は酔ひつぶれてゐて、な

蛇は途中から、呼

天帆 白帆 紙は此甲に限る

は批印に限る

クサ

電点 支那股の準備有日本橋際 大連窯道館 表高價買入海外相場基礎 でご三六四トキワ精丁台 で電三三六四トキワ精丁台 で電三三六四トキワ精丁台 でである。

美震町五七番地電話二 へ六六 乳児無縁質費にて削積り数でます。 安信會主 乗婆後野静子 乗婆後野静子

雜

得上福原正義先生創製 はカ治林新樂 はカ治林新樂 はカ治林新樂

のみのコバタ 1. たか



pompeian



優雅な香り 地肌からの美しさに附く

ボンピアン粉おしろいは其の香り床しくツキも良く ノビも好く艷々しくお肌の配質を増す理想的な粉は 白●淡紅●黄色●肌色●



特質販賣 店裏小路・高景屋質店 剂化消粉殿質白蛋力强最

發賣元

は實に强力なり 大阪・東ル・京城・大連 大阪・東ル・京城・大連

蛋白質澱粉に對する消化力 を米糠に繁殖せしめて得た るエンチーム(酸素)にして るエンチーム(酸素)にして

堂主風呂崎

サージ、あんぶく

其他腰痛手足の痛む倒方様

温性感冒流行 四ツ目印 にんにく葡萄酒を 中南南南西の北京に

入學者氏名

原正身(以上百四十五名) 整、高島敬爾、大野孝、小野三 整、高島敬爾、大野孝、小野三 整、高島敬爾、大野孝、小野三 縣、高島敬爾、大野孝、小野三 縣、高島敬爾、大野孝、小野三 縣、高島敬爾、大野孝、小野三 縣、高島敬爾、大野孝、小野三 縣、高島敬爾、大野孝、、 一、福田義孝、渡

全滿洲に沸き起る

式典と祝賀 建國祝賀の大歡聲 けふ日満双方の祝賀

海城蓋平兩縣の盛儀

時から大食堂を利用し舞踏會開催

を用意してゐるさ

旗行列に提灯行列に

吉林未曾有の催し

日本では、 のは、ないて能り焼から機の園に入るが がいて能り焼から機の園に入るが がいないては全部機の造花

盛事は國籍民族を超越し大に祝職は はヤマトホテルに旅て此の目出度

一摩依業を飛の意を表する事に申居、高脚節等の催しをなし商戸は 開原と開原駅の建画祝典は左の 開原縣の

建國祝典

開原の祝賀會

四平街の催し 一、瀌儀氏推戯式=九日午後三時通り行はる

遼陽官民の建國祝賀

者は九日左の通り内定、 入學 養順女學校

たた。 表木マツエ、阿南カスミ、阿和カスミ、阿和スミ、、
一大、
一大

金

日 と同地領事館出張所を経て本署に勝め終集左記の城く百六間を醸出 開號被挑逐動の駐撃あるを開き協

電氣の料金

金二個づゝ 柿木原東一、下村松金十個づゝ 柿木原東一、下村松金五側づゝ 長嶺堅治、谷村博、中島金五側づゝ 長嶺堅治、谷村博、県川千代松、川原二郎、氷鉋貞一郎、福田尊介 小林陸喜、山路壽男 和田夫助

大隈より来願せ 大隈より来願せ 大隈より来願せ た通過と加難事

業式新義州商業卒

名 道路等を消毒時 た魔茶と乾燥し截尿等を溶解して を変素を発験して を変素を変素を変素を変素を変素を を変えればるに続い薬結して を変えればるに続い薬結して を変えればるに続い薬結して を変える。

▲干蔵町一九 中川有三氏長女美佐子蠳一日出生 佐子蠳一日出生 大子製一日出生 大子製一日出生

御めてた

喜美はそつさ 果の顔を見上げた

「これから、ごつか行かないか」

鳳凰城の

を活動高東を公開 公會堂にて祝賀會

出版を影響した肥版地ではないか

吹きむくる

討伐隊歸る

し値下理由を其して関東際に認可と解論的下げが連続中であったが

日にして見事職に多大の撮影を製した安東警察際四十五名は一日の歌歌せも睡眠討伐のため同地に日本の歌歌を世歌討伐のため同地に

の約一割見當であるささいなったが、値下率は

四分離安したが指揮官たる國武警へて四脳せしめ同日午後四時三十

さら、谷原盤の市中遊行、谷種大 を含、経験性の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 を変き、谷原盤の市中遊行、谷種大 三箇所には大殿等塔「イルミネション」を建つ人々に呼びかけるべく既に入日から着手された 營口の祝宴

執政就任遙拜式 を 新國家成立、祝新國家成立、祝新國家成立、祝新國家成立、祝新國家成立、祝新國家成立、祝新國家成立、祝新國家成立、元帝(1大天) 一直、小路通の別なくまばゆい程のの別なくまばゆい程のが最長、伊教育局長、伊教育局長、伊教育局長、伊教育局長、伊教育局長、印献符會長、印献符會長、印献符會長、印献符會長、日本(1) 「一方」(1) 「

日左記により熊艦するここになり 日左記により熊艦するここになり 日下夫々準備中である に於て日支合同による就賀大倉 新市場、宇衛隊、 降域地を繰り歩い、 一般長、 路線の順序で共和を関を出發し山東街より南大街、 中衛隊、 降域地を繰り歩い 郷、喇叭、響察、一、十二兩日の游

復縣の祝宴

奉天城の

襲擊

工業局等に放

上自警察と遭遇と

鞍山の支那人勞務員を 芝居に招いて軟待

別か又張榮金()は

團移動 七日鳳城縣第一區 滿洲號献金 開原の分

一區康家顧吳家河口 経ゆる四十餘名は と観季館出張所を終て鏡鏡に送金 比壁を像で開きた記五十個を纏出 別時原城内屋住邦人も満洲航戦納の

滿洲號献金 昌圖の分 本一、住宅内外地先道路、二米突道 石一、塵芥箱のないものは新設し破 石一、塵芥箱のないものは新設し破 損にたものは修繕すること 「一、塵芥箱のないものは新設し破 にで雙数なものな優かのこと 「一、塵芥箱のないものは新設し破 は、上、大田町の汲取口破損しある向は

五、路地及二米突道路は特に物置 にしたり雑品を放置したりせず 常に綺麗にして氣持よく利用す あこさ 來任 旋

一般に大きながいの出述へた受けを 車にて警査多数の出述へた受けを 車にて警査多数の出述へた受けを 低した 清水新署長

た恋蓉五十餘名、盛會を纏めたた恋蓉五十餘名、盛會を纏めた 能各方面を歴訪就住の挨拶を述べ 星子衛生課長は九二位 森氏の別宴 るやうに 事業は、髪の心を讃えうさす

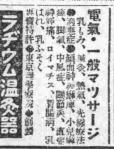
「時間は? 「あれでよかつたんだよ。あんな さって背話をしたつてはじまらな くりして――僧も云へなくなつて「あたしは突然で、ほんさにびつ 「まだ大丈夫」 ださ云つて――『虚なりれなく

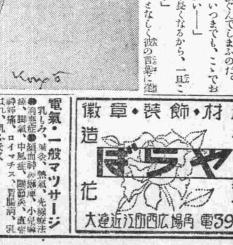
大連市浪 速町一丁目

「もう行かなけれやいけないだら う。ちや、また事はうか」 何故か、思に、あつさりと云つ 返す。 酒生醫院 大陸市三河町ニ













話の

A SAME AS A 性病 軟 梅 音 液 音 液 病

一、午前九時半=開原神社にて祭 ・一、午前九時半=開原神社にて祭 ・一、年前九時半=開原神社にて祭 ・一、年前九時半=開原神社にて祭 ポルー=十一日城内各小學 脚にて奉告等を行ぶ コロンバイルにおい 建國祝賀を曜

現に角逃げ足の早いことに今更 既は逃走の駄質にと附近部落の 民家に放火し松戸な全境せしめ でがその横の小學校が焼かれた がら驚いた、公安局は助かつ にがその横の小學校が焼かれた

会覧の未納或はその他の関係から 大不是か聚し地底三月までの諸事 ので満頭神総会追加方を电論中の ので満頭神総会追加方を电論中の ので満頭神総会追加方を电論中の ので満頭神総会追加方を电論中の あるが態染病験での示差があった、窓中 あるが態染病験では全然能外も

るこさ * なつた

李筠生氏歸鳳

新國家萬歲を三唱し閉式した。

すること、なった 安東縣各機關は越回成立視貨の貸 安東縣各機關は越回成立視貨の貸

を は 1 を は

鐵西公學校の

そのあと

建國祝賀式

公費補給金

建國祝賀休業

策を協議

第二の反抗

(172)

附屬地發展

Щ

雲井町、旭町、櫻町、大濱町、綠町、特里町、常盤町

飯田守備隊長

頭目二名を射殺

平北警察隊

の奮戦

る に陸車省より支給された煙草多数。 で め鼻山屯に駐屯中の熊原繁等多隊。 度一般田勝原守備隊長は目下討座のた か窓勝して居る 開原婦人代表 支那警察に寄附 職嫌疑長季第生氏は素天に出殿中のでころ六日峰殿とた、出塚の重原本が出等であるが、繋長の静脈を知った馬帳頭目加成有は七日來を知った馬帳頭目加成有は七日來を加った馬帳頭目加成有は七日來の離脈を知ったれご表だ。除版中で、

殉職消防吊慰金

る操座であると を検定であると を検定であると を表示して表示されます。 を表示されます。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示さる。 を表示

通過

阿南侍從武官

「やつばり君に逢ってよかった」

一関は、逢ふここな躊躇したんだ

安部素蔵氏逝く

大石 橋

避難鮮人ル慰問

一年間子農龍桑久方東 の後調査の結果大南 の後調査の結果大南 く病者を診し見郷品を贈つた 八日階原建能戦人を繋がいを訪い親 開原婦人職会會代表者版名は三月 奇特な兵士 慰同品を避難

の作販が大南邊門外、口夜奉天城を襲撃すべ

鮮人に分與 造成新義州府機町の火災の搭飛職 をが配から電感金八日姿に既に二 をが配から電感金八日姿に既に二 をが配から電感金八日姿に既に二 をが配から電感金八日姿に既に二 第一回の 順

無験市中は結氷中充分なる操脈が 関に塵茶やで成がう等に急いで全 は解水期で殊に不認い管理を握め は解水期で発に不認い管理を握め は解水期で発に不認い管理を握め 協計 の清潔デ

一般居住者も富田は左記な駅付きの大掃除、膨茶、程院ガラの節窓の大掃除、膨茶、程院ガラの節窓 潔デーを施行し道路及び空間して十五日が期に本年第一回 販賣 石炭の共同 瓦房

店

事さなり前の消鐵燈炭場に旅て管準行の二転に然て販賣し乗りとが、今回共同し一ケ所に旅で販賣する 業するよ

郎氏は八日着任名所殿訪挨拶を辿新田和房店守備隊附中尉伊藤長三 伊藤中尉着任

喜美は、うらめらいやうに、云「まあ」 を最近知つて唐たんだが――」 で、二人はしよーーあるころから、君の居所一つて外に出た。

でなかつたら、居所を知つても 「亮右に無理に誘はれて、座胸を ない、二人はからして、又迎ついたで、一人はない、一人はからして、又迎ついる。 一巻館にそれがわからなかつた。 音美は、一生、またさ、こんな 音美は、一生、またさ、こんな 音楽は、一生、またいふ氣がする。 それは空懸ださいふ氣がする。 それは空懸ださいふ氣がする。 それは空懸ださいふ氣がする。 行かうさ云ふのだ。 いま、目の前の行先ばかりでは これから何處に

順

淡 尿器病 井上醫院 生殖器障碍 胜 軟性下疳

大連市西公園町百五十三番地の賃さ治様。福州總事電元

高長、 列まれてゐた雪美は、底熱した美 を捧げられないのか、こ口能かっ させて、そのなかに、間の鑑の紙 前のやうな紙なよろこびで、愛怪 きせて、そのなかに、間の鑑の紙 喜美は、魅人の前に、何故一年 きつっちゃって唇を彼が、まるではないか。 いくつもうづまいて唇る。 いくつもうづまいて唇る。 いくつもうづまいて唇る。 いくつもうづまいて唇る。 いくつもうづまいて唇る。 いくつもうづまいて唇る。 がくつもうづまいて唇る。 がくつもうづまいて唇る。 がくつもうづまいて唇る。 ちょうつちゃって唇を彼が、まるで 美はまに そ だつた。 さた喜美さ、實際に、かうして れない思ひ出を持つた。 でんち といって見た彼女とは、大鱧な根違し にない思ひ出を持つた。 であれる

もいふのか。それさも…… 畵

B

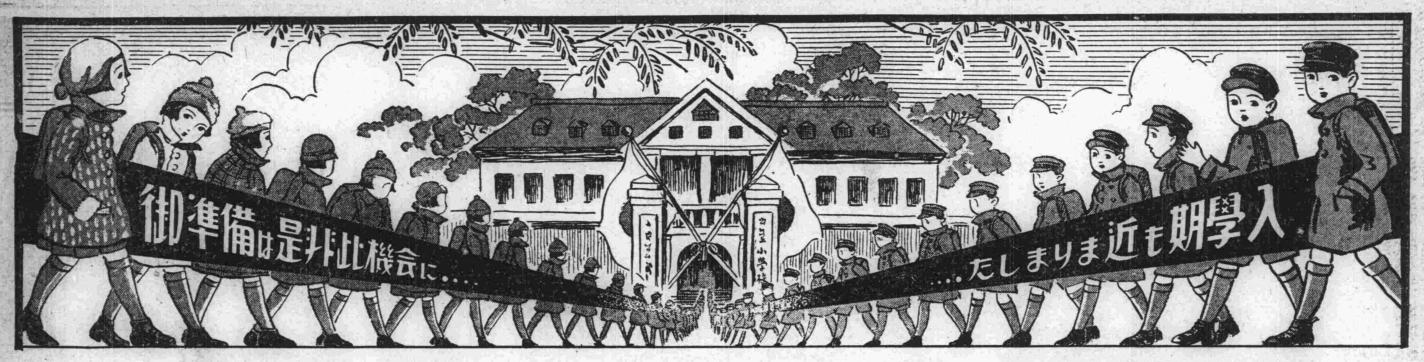
古

金剛

本庄軍司令官 七日朝是春へ 今內田滿纖總裁 同上 一人內田滿纖總裁 同上 ▲ 增田道義氏 (朝鮮總督府警察官 ▲ 村上同理事 同上 本首麟滿踱理事 八日夜號連

を表したのでいよく四月一日より を表したのでいよく四月一日より を表したのでいよく四月一日より

野



すまし致供提は價安の最一揃取に富豊をて總の品用學服生學

階三 社報日洲滿於間日三でま日三十りょ日一十月三 =供提價廉別特樣同會列陳もてに店商加參各=



新學期に際し優良プラトン萬年筆月賦提供優待

(十割割戾抽籤券附)

大

拓茂洋行

洋行

電話五四

三九番

阪大

藤澤

友吉

商

文具百貨店

入學及進級

0

お祝に

は

御洋服をお勧め申上ます 的用實 磐 大連羅紗貿易商會城町

田通

八九 五二

響行

品 大 賣

學

対子線の酸を頑性にするには お子様の虫下もには 藥菓子 ブルトーゼには五製剤あり 7 クニン 廿錢·五十錢·一圖·二圓 H プアヤ 年ヶ月分 二・六〇 ゼリ セ

春物婦人子供服 女學生服· 滿蒙毛織裁縫部 美山 通 三 越 筋 陳列即賣(豫約御注文に應じます) オ 電話二二六〇〈番

Comme o 100

大日活、の入場券を進呈致します 御買上げ二圓毎に帝國館、中央館

畫番店 大 連 白市浪速町 屋

振替大連五四〇番

掛六○三四•四九九四電 掛三六連大替振 لك

> 春向 服地新荷着 大 連 直 其他毛織物各種 電話四七七九番

御

ラバ生

學著名信用篤き

白木屋の

生

耐久强靱

不變色

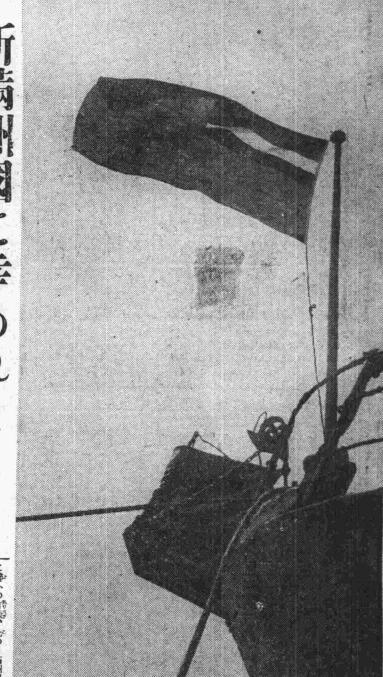
體裁優美

大連市連鐵街銀座通 小學校入學から中學卒業まで身長に應じて伸ばすこさのす。殊に弊店新案特製の勉强用伸縮机をお勸め致します子を初め御勉強用の本棚、本箱等各種取揃へて御座いま小學生、中等學生用ごして特に製作いたしました机、橋 出來る机で御座います。 椅子、本棚、 用 電話ニニー三川番 本箱

春。モスリ 磐 陳列三特 賣 モ 友 着 尺 y 1

勉

滿~城壽~町屋* ス



時、所、ヤマトホテルは電光燥ゆきばらい、 でマトホテルは電光燥ゆきばられる 常盛橋、 中勢町その他当時のでは大脚場、 常盛橋、 中勢町その他当時の できる いっぱい かりに電像し大魔場の中央その他に かりに電像し大魔場の中央その他に かりに電像し大魔場の中央その他に かりに電像し大魔場の中央その他に 一前九時、満倶球場で祝賀式

意氣昂る、帝都の

陸軍記念日

上に在住民は定刻前から忠魂碑境 とこ十七年前の今月今日な思ひながらも傑年より以 物線とく感じながらも傑年より以 かんしょう ここ十七年前の今月今日な思ひ深 さ二十七年前の今月今日か思い深 時間の壁庫記念日は今年になく前窓際の壁軍記念日は今年になく前

勇士遺品をみそなはせらる

聖上親臨して、

満洲上海の

は歌になる「親を付け」のラッパ

『東京十日愛』 満洲事態に長海事 | 膝を上の歌が表際の大戦の多歌にて「大元解歌下 内に襲撃、村井腐工食護所會頭、張大、 | 他に顕陶紫源の今日この頭・腰が上の神動等等を告、内田満級集 | の目行の神動等を告、内田満級集 | の目行の神動等を告、内田満級集 | の目行の神動等を告、内田満級集 | の目行の報の際さし難いて式場 | たち、満洲事態総計と近談が、表験を目の離れるとの大き、神田、 | の目行の報の際さし難いて式場 | たち、満洲事態に上海事を大戦の多数にして大元解歌下 | 内に襲大内市・倉護を2の服命を見、中国 | の目行の報の際さし難いて式場 | たっす。 | では変形機が、駆野の名土が緩が | たち、満洲事態総計をなると | 大力・倉護との変撃で新図家 | には壁車株核、駆野の名土が緩が | たち、赤州事態総計と近談を大戦の多な。 | では、一大力・倉護を2の服命を見、中国 | の目行の報の際さし難いて式場 | たっす。 | では、 | 大力・高速をで | のままることになってある | では、 | 大力・高速をで | のままることになってある | では、 | 大型の間では、 | 大型の間では、 | 大型の間では、 | 大型の間では、 | 大力・一般、 | 大力のが、 | 大力のが

九

大連女子中等校

七年度の入學者

の氏名な谷學校別に元せば左の妲に入學を許可されたるもの、氏名に入學を許可されたるもの、氏名に入學を許可されたの。氏名

井上氏を狙撃の

拳銃の出所判明

藤井少佐携帯のも

「東京九日餐」 押上氏暗標犯人小 護國堂の瞬にあったので地震 ではで大海の護國堂に藤井雲佐が やうになった陽常から大い に共鳴しその後新宿中村屋でハン は管て大海の護國堂に藤井雲佐が やうになった場ので出ばた 大手に包んで覧ったもので出ばた 大手に包んで覧ったもので出ばた 大手に包んで覧ったもので出ばた たちのさ殿らる 郷正の陳述により使用のピストル が同氏の門に入りその数学 が は確定を下してゐる、因に藤井雲佐が では一十二十一 には関係なく矢乗り日本 はでなったも同学佐のものを極事に成ったもので、極端を関心で表面ででは、大きいも同学佐のものを機事を表面である。
 「本社・大連からピストル八張を購入
 「本社・大連がらピストル八張を購入
 「本社・大連がらピストル八張を購入
 「本社・大連がらピストル八張を購入
 「本社・大連がらピストル八張を購入
 「本社・大連がらピストル八張を開入
 「本社・大連がらピストル八張を開入
 「本社・大連がらピストル八張を開入
 「本社・大連がらピストル八張を開入
 「本社・大連がらピストル八張を開入
 「本社・大連がらピストル八張を開入
 「本社・大連がらピストル
 「本社・大連がらピストル
 「本社・大連がらピストル
 「本社・大連がらピストル
 「本社・大連がらピストル
 「本社・大連がらピストル
 「本社・大連の世界では、
 「本社・大連の「本社・大連の「本社・大連の「本社・大連の」
 「本社・大連の「本社・大連の」
 「本社・大連の」
 「本社・大海に、
 「本社・大海に、

血盟團事件に

ルコ午後赤十字社に中間 おひ黙談の紹果、同社会 に意識の紹果、同社会 さ目してゐる四各區長住町二出版「震点が「敷男暗線事像の重要關係人 支那恒 わが赤十字救護班が上海へ

北一帯の支那像網長が意外に多数 大連市内だけで 大連市内だけで

政器や市役所に関合せる同が多族の掛けがからないために民がからないために民 の殿祭には撤ってこの正しい捌いますから今後の日滿陬画の共通 原さの交叉の仕方を次に紹介し御参考までに正しい國旗を外國

自国際と変叉するか若しくは単いけな場けるものではなく、必ず

ALALANDA ALALANDA ALALANDA CANDA CAN

祝賀の爲め臨時休業仕候

日滿洲國建設

ンミ三千國な放り出した、市民の 役所な訪れ「滿洲號」の酸金にボ 市内山縣通り瓜谷長選氏は九山市 等威壓は大股心廠にも大北邊門か ち大北門まで迫つて來たのでこれ ち大北門まで迫つて來たのでこれ を繋ぶる多數武器螺篥をも押収し を表表 共間流電鐵語流布され同地歴住民とて更に変觀せんさする機識ありたが十一日の祝賀大會の遊鶴か期 についた【奉天電話】 三千圓を献金 各申請が必要 陸上選手登記 天襲擊 我軍憲到る處で交戰擊退 支那側と協力警戒中 0 関の敵金申込みがあつたと いた 關係方面を搭徐アツト ができた。 なして八日に下大連に入港二十番 がつた島谷戸戦會社のデーセル版 切った島谷戸戦會社のデーセル版 がった島谷戸戦會社のデーセル版 がった島谷戸戦會社のデーセル版 を起源が丸(三〇〇〇戦、最高速 カ十四版)は報戦總督府の命令版 がった島谷戸戦會社のデーセル版 がった島谷戸戦會社のデーセル版 なして八日に収録。新髪の姿が、 がったらな、新髪の姿が、 がったらな、新髪の姿が、 がった。 なして八日に収録。 ないる。 がった。 ないる。 がった。 ないる。 がった。 ないる。 ない。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ない。 ないる。 ない。 ないる。 。 ない。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ない。 ないる。 な。 な、 ない。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 支那放送局の 閣ラヂオ

本社受付寄附 七日本社

同剛▲一

出頭

洗練 せ 玉の如き 學 傳家 格 三 そく 松尾町 治療

邓州時買會當鐵髓

=

五七九番番

这

月 E







早春の海軟風 新五色旗を飜 入港した滿洲船で良 興號』

ったが鈴木は捜査

洲

國

建設

尾に立てい證

新國家諸洲國の五色版は御上谷所 らしげに緊急されて資色地に四色の新たに健定された 選早くこの國族を 新しき英靈を祀つ 奉天の臨時招魂 の船尾に戦る新五色に 処骸はに間に合はす いて更に脱る。

能の発射を製

及爆魔三第七の真根につき縁計あて一年前九時より陸車記念日の式を製一 観して呼出行號も放送せず無責任 を表の監報言葉に熱中してゐる主 『奉天電話』 記念講演一では十日 野田行號も放送せて無責任

生徒一同感激し十時中式か了

東京本郷須拔町五十二 東京本郷須拔町五十二 展菁東京四六一本 展菁東京四六一本

日連連館 堂 海 局 三个行

日本各 雪 界各國酒類。食 東京風菓子謹製 鹽味 る産 田 味か於 ぶ多 ら福 6 珍 べ漬豆 料品 產國米用茶紅

羅紗倉厚司 山本洋行 大山通

水

二等

一等

特等(バス附)

□新滿洲國建設に方り 二、五〇 三:110 何滿 **卒御利用を願ます** 豪經濟調査に關する 電話代表七一五五番 一切

大連 天満屋

▽ボルのなんせき

▽結核病たんせき

>肺腫のたんせき

毎々格別の御引立を戴きまして誠に有難く御禮申上げます
本人の眞實無起すべき時が參りました本人の眞實無起すべき時が參りました本人の眞實無起すべき時が參りました私達日と非共皆様のお出っ願ふやう新に改善しております

或 建 設

蓋

所

は現住所職業を明記して登記料 は現住所職業を明記して登記料 ででは、これに登記料

ぜんそく

せきどめ

▽ぜんそくのせき

祝

洲

を左病に一服試験で良したパウル氏散

マキカンシのせき ▽ぜんそくの息気

咽頭カタルせき

らないわれ」

野想多畵

下さいな」と云つた。「お産知のかすに此の小舎でみつしり働いてかった」と云つた。「お産知の

通り、駒太郎があんな際になって

つて、誰か君祗たあげるや、驚くわ。今度は熱心にし

きがはしやいで云ふと、

(222)

さう云ふ茗へが離の心にもかいてゐた。よもぎは最も強くそれを

幾分か客足しふえるや

だ

まさ

新楽や

0

や新發見な

墨00000

長春東一條通

安東縣四番通

撫順東六條通

奉天春日

「何うしてそれを知ってるの」
「何うしてそれを知ってるの」
「何うしてそれを知ってるの」

もう十五六日に

マリアは困つて默りこんでしま

京日本修通二

有田と

本 舗 大阪内本町二 「有田 音 松 鑑 製」

なこも字こり もの無の物はき文

調理は

0

酒は 圖白鹿

二十五錢

べからざる築養素を無ね備へて

この時こそ、健康を獲得するに絶好の機會で

と共に、サイタミン

即一人前 五十錢

全

專

じながら、マリアはさう答へた。他能なものであるかな改めて感はこかものが何れほご難かし

はあるが人のよいマリアを、彼等勢部屋にかけこんで來た。變人で

は友達さ笑ひながら一々探手ないだってゐるのだった。マー

「さにかく凌草のマリアが歸って」

干管麟、東山客 干管麟、東山客

東風上 表

らず 誘毒は子孫に遺傳し一家を破

打捨て置かば一身を亡ずのみな

天真の

一二三四五六七八九十二三三吉去夫 (勝五回目)先

大 城湯 大 城湯

日

七

和昭

いさ魅つてたんですが……」
「あの手紙をあげた時はまだるためないの」 と手紙であんた云ってよこしたぢ もう少し大山家にあたい

へちれてあけみは甘んどて郷につへられてあけみは甘んどて郷につ へて出るのよねりとう。 ない。が、それを打ち開ければな いっか、それを打ち開ければな が、それを打ち開ければな が、それを打ち開ければな 変をまついし、でうじて其ので がんだ風をして、でうじて其ので 復活のマリアへことよらぎの間ひに難して、もしてが正確に返事なするなら、もしてが正確に返事なするなら、もして あるのだらうご考へた。土地の人をしきりにせんざしてゐる間に、 にたづれて行って、マリアが祖父 たたづれて行ってららいさ数へら れて来たこさを話した。マリアは の発表をのがれて暫く祖父をた 尤ら祖父はつひに見

「では、全暫くお祖父さんに逢い

うに云つた。

林病と體書S併設症

毎度は引立を蒙り

體海の併發を知らずに

本病のみの手當をして

五前z早常庙中寻一品 十五级的一五人様以上

の人一すことになる。

あるから、 淋病が全快すると同時間の淋病薬は紫海がが配酬して

△短 「便衣隊」「登」「新國家」
△衛 三月十五日に延期
△衛 三月十五日に延期
○元 大連市能登町十高橋月南 方からたづれて來るやうな氣がす

てゐるのだつた。 マリアは前からそんな気持かし もぎは氣味が悪いさ云ふ顔けれて来る!」 には「かさ氣とで惚れのない者はない」と云々。 離がある。大概の人はには「かさ氣とで惚れのない者はない。 殊に若い人には海線の多い者が水病に陥ると淋病となって出る。 のである。 手常の結果、一部の水にあれても、 僻口の深部に淋漓なった。 のである。 手常の結果、一部の水に、 その続口 かってある。 手常の結果、一部の水に、 かってある。 手常の結果、一部の水に、 かってある。 手常の結果、一部の水に、 かってある。 手常の結果、一部の水に、 かってある。 手常の結果、一部の水に、 かってある。 がった。 ばればいる かった。 はない はない かった。 はないれるい かった。 はない かった。 はない かった。

以下内地中總(会部大阪より) 議溯新國家に寄する夕 議溯新國家に寄する夕 任」京都帝國大學文學部教授矢 野仁一 連 JQAK 午後六時十分 るから、液病の薬のみで手當なしない、温毒、糖素の併動症である。 ない、温毒、糖素の併動症である。 はない、温毒、糖素の併動症である。 はない、温毒、糖素の併動症である。 はない、温素、糖素の併動症である。

帝國大學醫科大學病院して醫學上最有効と確定 主薬は静南内服象と

にて無機能職せられ内務省衛生試にて無機能職せられ内務省衛生試験であることを約見せる場合は分に強へることを約見せる場合は分に強へることを約見せる場合は分に 醫科大學病院

ヨコネ、カンソは切らずに治る 小 御 中 食 鍋物 おでん 浪速町一の帰価」 十五錢 1 五十錢

戰七四二九番

中の観点(スピロヘータ)を徹底的
一数なる編書棚によって全身の肌液



古野町帝國銀前

手営等に、

療 を揚天ぷら とゆ手軽ー品料理 大連味界の明星 百味麼

グッラド田有

鞍山南三條通

開原新市

有田ドラッグ専賣連市越後町

畳と燃え立つやう ゐる點に於て、全人獨特の滋服効果を發揮する。 心氣に適度の興奮 仁丹を服用すれば 動の根基である。 の充實は、人間活

爽快な成

るにも、始められるにも、

絕好

の無二の機會

今は、仁丹の活用を、續けられ

を强健にするこ

とは、健康の第

其の第一日から 非常に消化力を强 仁丹を常用せら 一義である。

め、膓活動が著しく好調になる。その結果食

容器附卅錢包(二百五十粒)を

百粒に増量

包(百六十五粒)を

三百二十粒に増量

包(八

百五十粒に増量へ十粒)を

徳川五十錢凾(五百五十粒)を

千 粒に増量

徳用瓶入壹圓は

二千二百粒

リーダー 適し白熱的人氣を博す 魚牙容器附 味井に近代人の好尚に 透明容器附 合言容器附 一位丹主朔の外サフラン 御 試 用分

五三二十 十十十 錢錢錢錢

一五廿十 十五 回錢錢錢

れると、

欲は增進し榮養は完全に吸收せられる。 、仁丹は萬全の良策である。 病室の訪問、食中りの 力の具有は仁丹 の活用部面を一 層廣くする譯で

大懸賞經過一下大賣出中 草木の芽ぐむ今から

健康を培 を改造し、之れを强健化する仁丹の常用は、根本的に體質

木の芽ぐむ頃にもなれば、人間の生活力は最 も旺盛となり、體內には生々の気が漲り溢れ 人間の體も自然の環境に順應する。陽春、草

仁丹は近代醫學の上

に、東洋醫學の極致 を悲した良利である

幸福に導かねば措かぬのである。 効果を發揮して、虚弱を强健に、憂鬱を明朗 胞に能作する獨特の働きは、今、最も著しく 仁丹の微妙な働きー合理的に人體の機能や細 ある。今仁丹を常用せられることは、真にダ に、沈衰を元氣に、かくして全人類を健康の イヤモンドを得たよりも貴い。

仁丹本舖 大阪市東區玉規町 森

銀粒仁丹增量藥價

博

F

聯盟事務局を經て

閣員親任

祝賀行列練

春光輝や~参議府

議次次次院院總

員長長長長長長長長長長長長

滿洲國政

さ閣員を決

し得る程度を出でざるに至退に確定期限を附せんとす。 しゅん せんとす

大時局は漸く危機を脱したもの、如くである

に葬られ、さとよ職関な後想された決議窓も日本代表部の受い、バリ不戦條約等の原則尊重を骨子とするものであって一の結果大國側の意向遇りに漸く纏める事が出來た、歌歌歌歌の関係な考慮とて極力が國際か裁談でもに努める一部、サイモン默歌歌の関係な考慮とて極力が國際が裁談ですることに努める一部、サイモン默歌歌の関係な考慮とて極力が國際が裁談ですることに努める一部、サイモン

議案骨で

カン氏

家は何れも日本の態度を予認せん のは英代表並にギリシ では英代表並にギリシ

17や、君は?……吉五郎君か…… 辻市太郎はギョッさんたやうに

「駄目だ、大將、こいつだけは不い見せる!」

織かつたら見せる、

P

取りつ取られつくせる

こんな言うで作をしてゐるん

見せら

…さうなるこ此方は簡見てえられれえだらうよ、解つてらりうよ。へへ、さうだらうよ

見せれえざなりやアいよい

云ひ云ひ抱えてるた包物な、大

に腕へ抱いた。

より

エリッヒ (フィンランド)

の高端線で運動に関する記事の取っ を検さも満洲をわが収録さ目すべ き事を腹室通常した

滿洲は依然

我版圖

軍司令官總裁 世間八時響が車にて職場とれ 十日午前八時響が車にて職場とれ 「清響と執政就低式に は際した本庄司令官、清響總裁と

決議案の

内容や緩和

「南京九日發」外交部は支那各紙

東亞

0)

謎

國

史

郎 Ξ

外交部が聲明

9

提出した答園代表より組織を全談に日支統等に関する決議を設定の表示により総部會及び本工ネーザ九日發一八日の一般 總會決議案起草委

下元〇團

吳淞守備

-代表グランデー氏 ス代表サイモン氏 ス代表サイモン氏

ルバン氏 時(福州時間九日午後十一時)愈大等一回會議ル開いたが決論裂は、次の諸項ル管子とするもので解せたので観れたが決論裂は、 一、聯盟規約が第十二、聯盟を國の領土並に政治的保全の健善の許すべからざる事を教の領土並に政治的保全の健善の許すべからざる事を

顏觸

一ず九日發一分科委員會

でれかし

吉五郎は追溯した。

ものは?

りして、二人の男は争つた。 演略い中庭を追つたり追はれた

員會(各決議案成立

「ナ、何んでもありやアしない。

不意におぼつかない日本語で、

朱仁鵬が怪訝さうに立つてかう云ふ聲が聞えて来た。

ちょつを他所へ持つて行くも

分科委員會の

いか……君々何んだい、持つてる「俺なしてゐたつて可いちやアな

排撃する

大将は一昨日の自此司会首の一谷小學校も開校理備中である一年十日登】英艦隊中令長官ケ 一一大将 / ク、スクールは本日四十日振り、大學

が日本人職業、女學校、

从然居留民

小護範圍

軍部首腦部の方針決

表からなる小委員會表からなる小委員會代表並に六 ルレボイコットを 際條約の神聖を 『ジュネーヴ九目登の離級れたの如と の離級れたの如と の整理)委員 の整理)委員

を實現する目的を以上並に日本軍の撤退上並に日本軍の撤退の停去委員會は戦闘行為の停

他所へ持つて行る

他所へ

「何故さ、何うしてだ、

此方の家

「ナニシテイマスカ、コン機関を止めて突つ立つた。

▲内田藤哉氏(流鏡理事)同上十時着列車で鯖連の筈

つさ、其方は勝手だらう。

が一口で」

て專ら居中調停に努む

前に集合、 ◇殿蔵は帰代。

居留民保護と租界の安全確保の範圍にその行動を止める方針

した、耐らて軍 成旅は何度でも

者をして代表

現地に圓卓會議を開た以上各項の質型後上海の

の全般につき権限を有するも第四項に依る委員會は日支紛



京解し事ら聯盟規約、 が根盤緩慢なるものではないが根盤緩慢であるさ、一が九日正年までに執てるものさなる機像であるとのではないが、決議を関係表の決議が、現金に関いてはないが、決議をは、日本にとり 執政就任式 (上)就任式後の記念撮影(下布)式典か了へて影(下布)式典か了へて

一ではいけない。 無のた傾向だが、無論取締りだけ、 一ではいけない。 ていけれる 「見せられれえ物を持つてゐるん

におちついてるやアがる せな、是非見せてくれ!」 だ。さうなんだし

響手だ」 低にも持つてはぬなかつ

はいます。 「冗談ニネなよ、包物だなんて。 を被な……」 「ねれるここがあるか、現在手にアいれえ」 毛糸



「ナニ云やがる、こん音は、見せ

「ソーン何うだ」 さ吉五郎は眼を丸く

思い知った

勝ち膝つたやうに市太郎は云つ

見せら

意無地なし、音え上げる

旅歌 人殺したー

です、市太郎が、総な

廉 賣 山本洋

小學生ノ難誌ハコレ!

大評判

ムト

東季戦會の他につき打合せな途げ サイモン氏さ會見、總會決議家と サイモン氏さ會見、總會決議家と

ものはいつ

「勝手ぢやア無いって、ど

ちやア何と

イ、包みの中味

だからの野社であった。 一部村との野社でお仕郷にして、 市分の部屋へ飾らうさして、丁度 が成へ来たさころであった。

我立場諒解

九日数一松平代表は

希兩國は

八大學習雜誌 守ル鐵田

鐵兜献納ノ企テ

菓集 誰レデモ應募出來マス 勉強シヲリヲオ贈リシマ テ一日一善・ 健康賞ヲ迪

五萬圓奉仕十 六大計事 獎學賞ヲ

!!念

又々現内閣六大臣閣下カラ特ニ 又々現内閣六大臣閣下カラ特ニ イ組立細工や手技材料ナド學習味横推埋力、計算力、創造、創作力ラッ オマケノ附近ハドッサリ デカロ

L

智雜誌 小學館發行

加製東京寫眞學校繼續

美術金屬と各記念出製作 會合

御拂込ハ(振善東京三三八番 満蒙鐵兜 金四拾錢也 6個 拾三額

壽 雲 柄 澤 先 生 作 壽 雲 柄 澤 先 生 作 皇軍鐵兜 金琴拾五錢也 金子 有國 拾三錢

(可譯物便郵種三第)

陸軍記念日の祝賀式

事件以来背殿を暗然事件の突登、

時、一般を発を続合して全国的に警察部である必要を認めます。 一般を発を続合して全国的に警察部である必要を認めます。 一般機関の元党振説を配りその全機を である必要を認めます。 一度を発を続合して全国的に警察部である必要を認めます。 一度を発を続合して全国的に警察部である。 一度を発を続合して全国的に警察部である。 一度を発表して全国的に警察部である。 一度を発表して全国的に警察部である。 一度を表するため関係を表するため関係を表する。

盛大な観兵式が宿はれた。之れよ獨立完備隊第一大隊長指揮の下に

山浦南國の朝

哈市の記念日

た陸軍記念日 ~満洲建國の第二日 新満蒙に

した、なほのは六時やから就受命に就て在、輕軍人職合分會地艦の歌念座職會が儲される響でく滿蒙第一年の陸軍記念日として参列者の職は一層總統できるのあり独昔な偲んで今日な祝蔵日本帝國萬歲」か三職「君ケ代」のラツス城奏、一同就職神に國族は降下され除式したが明け行れ更に機能中奏で「君ケ代」か二階岡野市長代地の式酔順識あり、惟内民政署長の養繁で「大れ更に燃まり、織いて 呪奏された 「君ケ代」のラツスで一同就職、その郷に焼た る 國族は控獄さに始まり、織いて 呪奏された 「君ケ代」のラツスで一同就職、その郷に焼た る 國族は控獄さ 意義深い祝賀式學行

白玉山上で招魂祭擧行

長春 0) 陸軍記念日 國旗揭揚式と觀兵式

りふか

北滿

に先づ第

は (ハルビン十日数) 十日の陸軍部 (北京) 大時より満洲建国際戦争がに職職する市民は狂喜戦雄・こて皇軍の (北京) 大時とり、 (北京) 大きなり、 (北京) 大

電影では、日子の大変は、 を実施、あった。 一般では、 一のでは、 一のでは ルビン チチハル

遊行を信び五十萬の市民は体業と行列が盛大に信はれて空前の美郷行列が盛大に信はれて空前の美郷行列が高いた。 三日間ぶつ通じに全幅の祝意を「ないた行び五十萬の市民は体薬し」を取入部年職養男際が加はつて大し 日 れあり人無いやが上に即ぶ午前八時で政府にて膨胀無難がはれた後 下時ではりの我膨胀変替を参観しれた、今夜に馬長官主艦の大変で付しれた、今夜に馬長官主艦の大変を付しれた。今夜に馬長官主艦の大夜會 二百名が出席する筈である、何明 日は日本郷の寒殿デーにて明後日 は遊藝大會さ満洲岡市民主艦の大 は遊藝大會さ満洲岡市民主艦の大 ・『テチハル十日数』常地に於ける である、それでも市中黄地五色族 である、それでも市中黄地五色族 である、それでも市中黄地五色族 (第の日本町は全家こぞって造機花) おり吉城全市の装飾はが続である (株) おり吉城全市の装飾はが続である (株) おり吉城全市の装飾はが続である (株)

大連の全地

和

片端から

廻る



小學校へ侵入したのが運の憂きで 場から荒し郷り三十餘風の密盗を 鑑から荒し郷り三十餘風の密盗を いた怪盗が十日午前三時南山蔵 昨(元)さいふ前科者で昨年七月九小國子騰天市場三属十五號居住于 逮捕された、機能市内

『東京特體十日襲』皇后陛下には 脱く も市外大久保の陸軍除 地域院に 戦容中の資飲者のため親く同院に 行幣海線能遊げさ

風潮險惡化に鑑み

全國の警備を充實

る壁脈で歌な支那人

關係機能を綜合發揮

既引いて待つてると 大連哈市間の大連哈市間の

局とでは、 を表する。 をままる。 をまる。 をもる。 をも。 をもる。 をも。 をもる。 を。 を。 十月二十五日 十月二十五日 窃盗三 日、大殿場、日本織、さ早苗、伏見塗、松松 十餘回逐に捕はる っ大なる被黙校は昨 一大なる被黙校は昨

畏~◎皇后陛下

衛戍病院に行啓

貧傷者を御慰問

巡山 一般ながら現金専門の一條階のうへ変描したものである。 「「の佐女木秋事、王秋事巡播が大朝日校が七十餘間、中の佐女木秋事、王秋事巡播が大 捕宿舍に盜難 早苗校が八十餘圓、

贓品仲買屋の手先き 遂に悪運盡きて捕る

示威将軍を開兵した

奉天近郊一帶に 匪賊の出没類々

和日の構さで選れる二種類があってこれには夜間は色とりく 問題がある。

カ ハルビン間電話・駅 終長歴 通話を の通りで呼出通話は 當分取扱に なったが料金は左 を 電子電話 電 電子電話 の通りで呼出通話は 當分取扱に なったが料金は左

り家天聖では非常召集を行び市内の大響成をならた『奉天電話』 と大北門附近に違つて楽たので、わが軍警は直に出航と重機關統 をもつて之れに麒戦と窓に版四名即五頭を窓し四名を排廃とし版 をもつて之れに麒戦と窓に版四名即五頭を窓し四名を排廃とし版 をもつてとれに麒戦と窓に版四名即五頭を窓し四名を排廃とし版 を東新に繋進した、なほ午前六時半頃郷條溝附近にも二百名の城 楽襲したのでりが完備兵はこれと突戦と版三名を密した意報によ が東京は一直に出航と重機關統 を表表したのでりが完備兵はこれと突戦と版三名を密した意報によ を表表したのでりが完備兵はこれと突戦と版三名を密した意報によ を表表した。 では、なほ午前六時半頃郷條溝が近にも二百名の版 を表表した。 でりが完備兵はこれと突戦と版三名を密した意報によ を表表した。 でりが完備兵はこれと突戦と版三名を密した意報によ を表表した。 でりが完備兵はこれと突戦と版三名を密した意報によ でりなど、なほ午前六時半頃郷(本本)とで、 を表表した。 でりなどのでりが完備兵はこれと突撃と版三名を密した。 を表表した。 でりなど、なほ午前六時半頃郷(本本)との、 を表表した。 でりなど、なほ子前の表表になる。 でりなど、なほ子前の表表になる。 でりなど、なほ子前のでいる。 でりなど、なほ子が、ないでは、 でりなど、ないでは、 でりなど、ないでいる。 では、 では、 でいる。 ではないる。 でいる。 でいる。

動場において満洲國の執政就任

急報はこの倍額のこと連ハルピン間同二個三十銭但

名の参列者があった、定刻全員

ぎまでも離沓を呈した、かくてぶ

平年通り質素に祝賀

二三四五回五回

甘栗を

御忘れなく

(野路はまた五米おき「祝滿洲國」 を以て裝飾を施したためさながら

の他三百米おきのアーチ(松菜とて記せる燈籠を新鮮門より即路よれて全長百五十米に取りて監燈して 新天地目差して へ込んだ不良團 下荷役に差支へない限り体製新國家成立就費の意味で定掛艦 埠頭明日休業

繩張り擴張中捕はる

主 保 大 東京 - 一、三月十一日午前九時中央公園滿綴グラウンドに於て祝賀式開催 - 一、三月十一日午前九時中央公園流級グラウンドに於て祝賀式開催 - 一、三月十一日午前九時中央公園流域がある。

生徒 募集 開始四月八日、中等學校卒業以上 開始四月八日、中述四月五日迄規 明治蔣永次第送呈〈電話五〇八〇)

共產黨員來襲 日本領事館に

6

る

ゆ

昭和製鍋所州內設置期成同盟會 實行委員會製鋼所期成

京する仙波氏 京する仙波氏 京する仙波氏 運動資金募集の件

春のピクニックにも 毎日の御食膳にも

キュービー マヨネーズ

御召物のシーズンが参りました。

御婦人方の御旅行や御結婚の御仕度は。御安心の出來る トなスタイル自慢の 婦人洋服専門 ワイ 大連市西廣場(土田寫真館際)

に御用命下さいませ

には梅のほふべた、 皆樣何率御ひいきに御願ひ致します。 がお待ちして居ります。 るご言つた様な可愛い に喫茶店 大同滿洲國獨立の建設に氣も心もよみがへ 『ナツメ』を開業致しました。 柳のまゆぢり、 無邪氣なサービスガー 蘭花の口び お接待

大連市連鎖街東亞煙草前

二日 ょ IJ

京 當る 三月 + 圓

劇

9 後 五 時 開 場 造

城磐市連 洋 和 場

每



不安加る

青訓生等の 聯合演習

地底院戦より際職を働いて先づ陣には底院戦より際職を働いて先づ陣には一日午前五時、おに明け場らの寒職を働いて先づ陣にの事所なる。

大廣場各資調生よりなる三個中一集り非常なにぎはひを呈した関軍の想定は昨日養姜のものさら熱心なる観聴者は緩々忠霊塔前に同事の想定は昨日養姜のものさら、偽監日は早報にもかゝはらずに切られた 靈地旅順の感激 滿鐵點周年記念

續いて聯合模擬戰 なる陣地か占據する三好〇〇指揮の西軍は歩兵者十、在郷軍人百名、青鵬三十名の兵力を以て南端郡との間に市街職か惹起と華々とい交殿の後批烈なる模擬をとい交殿の後批烈なる模擬を移った はます〈多事多代を加へて来たい。 ので満鍼人事態では現在これ等級が突襲し、こから満洲の事態 変が法に就ての研究は全然中止の の質素な競貨気のの研究は全然中止の の質素な競貨気のかに止めるもの が延さも対祭績分に定らす平年通り たが遅き記念品の配布または脱資會 まずが遅き記念品の配布または が遅きである、餌ちかつて嗅され が遅きである、餌ちかつて吹きれ

ら建國祝賀

本山南斜面中腹に堅固得軍無線電信所附近に

廿五周年動讀者に與へること 全般に奥へる記念金等の如きも

飲み廻り、若の金二百が父の金二百 四十圓を引出して来 から市内カフエ

へんさするさ三名は脱兎の如く逃 御中を佐々木、河野麻液事が駐標 でるや谷、鈴木外一名が渡速町御 吹きかけては常間に入れ既に十名 はごの不良が年職を作り、 遊の館 るだっていれば電車をは他間に入れ版に十名

中である、特殊は日本 めた版を押付け稼煙なる示威呼である、特殊は日本 めた版を押付け稼煙なる示威呼である、特殊は日本 めた版を押付け稼煙なる示威

て影行委鼠會を緊艦 恩田副會長死亡に就き後任者 故恩田副會長に對し弔慰金贈

阿南侍從武官 哈市に到着

大阪 (家はたび軽なる) 大連署市出 被害にかいつてぬる、大連署市出 を終書にかいつてぬる、大連署市出

學校に張り込ませてるたさ

中のだけに吹い、これに最近。 一番子を破って侵入した賊を張込み 軍将士に戦率のかめ時常に戦く皇 日午前三時ごろ南山麓小學校の窓 殿陛下の聖旨を北浦の野に戦く皇 日本前三時ごろ南山麓小學校の窓 殿陛下の聖旨を北浦の野に戦く皇 日本前三時でる南山麓小學校の窓 殿陛下の聖旨を北浦の野に戦く皇 へは十日午前十一時十五分長春より 一般では、1000年 一般では、1000年 一般では、1000年 一般では、1000年 一般では、1000年 一般では、1000年 一般では、1000年 1000年 淡皮

北西の風晴一時曇 十一時前是 天氣陽就 頭痛にノ

組立の簡單な値段の安い

行 洋 和 京

事は程が命み込んで居ますからい、さあくく無報りはあり勝ちの事ですた。若い内はあり勝ちの事ですなが、生那様からよく何ひまといっているのが、ないのはあり勝ちの事でする。

が人物ららい、頭の禿げた五一緒に上って來たのは見るか

日

大聲に呼んでゐる人の整。

樂は、默つて岸手を上げ

文藝浪曲壇の京山園造さ女流浪曲

お飲みとます。これは、ほんの手口を忍ぶ事ですから、よろしゆうっては御地人、ि地大は一個大人に

へ進み寄つて、禿頭を撫でながら さ、主人は、厳仕度の儘、符燈

●シイが主流してラルフ、グレーヴス、ロバの大飛行船● 本ピアの超特作映画、ジ

さ、作樂は小野で言ひながら、 この時薄笑ひを深べて、 我々は啼落者 5」 「有能?」さいます」 「有能?」さいます」 作樂さ、城さん被りの脈棒は、『昭和四年手提ですつぼりと顔を包んだ。 ー・ニュ

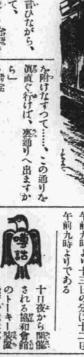
映されるフォックス・トーキ

会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 。 不 一 機

大五三<u>一</u> 大五三二 大九形三二

完成披露映画會







平手 先四段△建部和歌

新棋戰[共六]

であるであれは決してインチキではなく急速の舞響がデコポコで製版がこけるされんに○○○が確認がデコポコで製 さた人に好きになったのよ」さ云れて落ちたのだ」さ▲でお客は「

中川五場

が乗ん目から開議した戦館の金星がある上げりの東京ではない 常時難やかなりし張學良が得意滿ったものであるが▲この鑑慮には 面で演説してゐるさのこさである

協和會館トーキー装置 完成披露映畵會

るるから、御出堂の御用意が願びる事は危險かさ思はれるので、 郡との分では、ごう見ても此處に居る事は危險かさ思はれるので、 郡とのから、御出堂の御用意が願び

裏木戸を開いた主人、

ながら夜の間に消えて行った。 浪曲眞打大會 上優秀なるものに賞品を呈するさをで命作品は本月候會にて互選の定で命作品は本月候會にて互選の

とこの撮影會を開催すことになった。 の成立を記念するため「新國家成の成立を記念するため「新國家成 記念撮影會を開催

る照依のがに向き酸つて、 四邊が時間よつてしまふさ、そ 四邊が時間よつてしまふさ、そ

ましては……、ありがごうございます。では、追手の見えない内に裏口から参るここに残しませう」で、主人は二人の手帯物を持つて、いそくと生に立つた。

シグドム アの 高田浩吉 人二役主演千早晶子廣田昂共演 金さ オフ式橋土竹松るた々赫聲名

ん 夫秀野藤●子蝶田飯●松惠千村花●子里達伊●雄達藤齋●郎太新口瀧●子弘崎川●演典● 頂で見く白面もてつなに覽御が人なんとでま方のりよ年おらか達様子おの歳五四 せまいさ下賞觀度一ぞうとすでれるはーキートの慢自田浦るかづあにめばおてい



0) 此 處は 曙 かさ かっ が b は あ 常 Si n

明 國際的カフ

るいサービスは、断 然光を放ちました。 ミス・ダイレンの明 いカフエの中に・ 暗いエロ・グロの

ミス・ダ すばらし



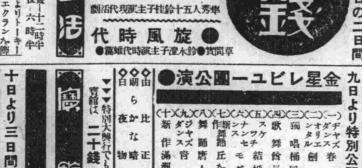
十三日箱がめ小供デー

肉彈三勇士 中央映画館 0

公開

中道君名 實結完凝主耶三光門權光寺頂吉

親戦戦就



日間限り 八十二全 第三後 ● 甲 ● 削

護半庚粉小・子かで江人・汀牌川賀

イセ町 四六五五,四八六九番

屋

十日の十一日の二日間

フランス製

春のハンドバック

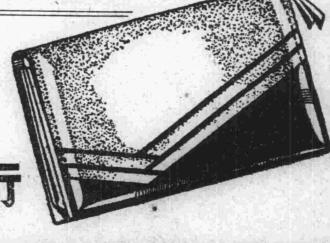
この春のヴオーグを代表する斬新にして高雅な型 明るい色彩いづ れも和洋装ともに調和よきフランス製の造品が多數輸着致しました

型……型は比較的大きな角型が全盛で ファスナー こめ全は軽快な點で大便歌迎され こ れまて蓋裏についてゐました臓は今年は内部のポケットに差込み 必要に應じてき り出すやうになって居ります。

・・地は草が物熱一般向さらて割まれ あつさりさらた海菜・クリームなどの単色がモ ード 其他黒・濃茶等も動迎されて居ります。 金七國八十錢より……金什九國八十錢まで

フランス製手袋 春の何外出には軽くて體裁のよい網製の

美しい手袋をお召し願ひます 御氣持も 餌容姿も一きわ御引立ちいたします…… 金一個二十錢より



の輸送は崩

波瀾を極めた

+ 月

が野策さして内地並に在商各機関 権無疑の大きな影響に直面していい を確実の如き不法整道を発れ我が際 でいまれるができる。

会をトップこと目下來南決定な傳 本市の與き大陸滿館、縣醮同製織 本市の與き大陸滿館、縣醮同製織 三十一弗四分一ご二ポイント張輪 大阪前館、原本市総鑑と見 然響成績分なるが市況監合み點米 を表するが市況配合み點米

加速度能に此種見本市は増加すべられるもの十指以上に上り今

マト

其の成織の耐上になる。 警路 日されて居る、警路 日されて居る、警路

大豆昻聡

況

十十十

場寄 前場引

新直積 三智比四分 新直積 三智比三分一 新直積 三智比三分一

爲

替

相場

銀金

産

大一豆 昻 艦

養蜂事業

熊兵城 農界

歌の意にて五十羅殿

金組聯合會の

臨時總會を開催

大連移轉其他を附議

ものさ見られてかり、野浦 場の ものさ見られてかり、野浦 場の に増して際況が呈するものさ見られてるが が出すに襲目せられてるが が出すに要け合せのため内地 りの懐観によれば東京が酸に燃る が出す。 いてる。が目下膝見本市に関して に起いてるる中村職合會理事長よ が出する。 はいてるが出する。 はいてるが出す。 はいてるが りの情報によれば東京が酸に燃る が表しく滿蒙進出に力を注ぎ合

10 萬東電外

引中寄 引寄 引寄 制 期 第 當 位 十 長 十 二 二 二 二 先

二二二二先

理上青

滿蒙牛輸送能力

年二萬頭に達

せ

して年二萬誠に塗す

會社銀行 何れも休

市場

● 連通大豆出来不申 ● 連通大豆出来不申 三川根 三名 190 三金 三名 四月限 三0 196 三位 大引 正月限 三0 196 三位 天的 四月限 三0 196 三位 三名 四月限 三0 196 三位 三名 田東高 四十四萬一千枚 金豆 油(强調)单位錢 限 月 寄付 高值 安值 大引 三月限 三位 196 三位 三台 田東高 四十四萬一千枚 196 三位 三台 田東高 一萬九千箱 (197 日本台 三台 田東高 一萬九千箱 日本高 繁白 196 三台 田東高 一萬九千箱 日本高 第二百号 三台 197 日本台 日本 三百号 三台 田本高 二百号 三台 田本高 二十三甲 日本 三百号 三台 田本高 二十三甲

Ξ

消費組合改廢と

出来高さしては市場創設以来の最 高いコードを作った

滿蒙進出に努力

今夏の滿洲見本市は

出品者倍加を見ん

輸組聯合の對策

購買力の吸収策攻究

の座談會

大連輸入組合

上旬貿易入超

千四百八十萬圓

京主能の満洲見本市参加者も例年 は戦略しきれないのではないかさ は戦略しきれないのではないかさ が優にの輸連を待つて愈々機能能 に準備を進めるこさとなった

職版を續けたが十五日佛國の國際 が 変加と一方米下院銀委覧會調整を 支出報も呼決したのみならず上版 支出報も呼決したのみならず上版 支出報も呼決したのみならず上版 支出報も呼決したのみならず上版 ではりが概認度軍部隊が微々上陸 ではりが概認度軍部隊が微々上陸

| 大きな | 大き

內地石炭埋藏量

大藏省證券

「東京九日登」上海方面の事態一 を発されば先頭輸出入貨物の戦時保 を発れば先頭輸出入貨物の戦時保 を表するに決定も三月十日より警論。

要」大蔵省勢表、二本高は(単位千国) 内属債 四、内属債 四、内属債 四、内属債 四、内属債 四、大蔵證券

戦時保険割増

東五千跛に達するであらうさ見られてゐる、滿葉中の内地輸送の財職が、定動総の解風鬼のみである ・ 一葉程度に過ぎて、これにを期に ・ お、定動総の解風鬼のみである ・ 大野に過ぎて、これにを期に ・ たいに達がしている。 ・ である。 本葉中の内地輸送の設 ・ には込むこと

市場、銀行、会社でも臨時体業で十一日は滿洲國建國祝賀のため多

一億圓借換

五 一六六〇

四型〇

八五代章

腰二十四日には二ケ年振で八十回「満洲な除く内地森炭埋蔵域の調査」物前域の二倍さなつてゐる関繁に怠騰、あさ連日氣騰また縦、年以來三ケ年の日子を襲し朝鋭、「あるが埋蔵。は終百六十億噸で大設化が加へたので二十二日七十七 約十萬國の豫葉が以て去る昭和四 査完了したので目下之が整理中で襲開始され増兵も既行されて経々 【東京十日費】敵「看鰻山原では「か貸しつ、あつた處此の程幣く振襲開始され増兵も既行されて経々 約百六十億噸を示す

に関したの好きが法を以て一部借 「東京十日登』大総省は來る十六 七帳」野隧錦來の一般會部遊に特 が大総名證然一億七千萬國

滿洲農産物需給と

其輸出貿易に就て

▲備考 哩ご海里では同一でも では年におり間をならずでは年に終りてるが、上説明せる如く演溯特定ができるで、 では年におり間をならずで、 を選出本に於けるが、、 変により間料でもして現に二百萬 変にはく増加すべく更に満洲新國 変にはなば加すべく更に満洲新國 変にはなり間料でもして現に二百萬 変にはなり間料でもして現に二百萬 変にはなり間料でもして現に二百萬 変にはなり間料でもして現に二百萬 ではなく増加すべく更に満洲新國

ぶつて選束に還り

豆粕四〇六五千枚。豆粕四〇六五千枚。

立つの程を逃へ北三千萬民衆の

▼…權益の 保険確認さ

り戻くべく運命。 「幽燕非故郷

特産三團體主催講演會の要旨の

(日曜金)

重要物產組合長津久井誠一郎氏 産物の処き恐らくは新説の古會線 出土り戦日本に配したる蝦夷、羅 は、又は潜港に職出さる、であら うさ思ふ、庭に難意線の大豆っ妃 は出土の特産物の姫き及運賃安 の港に向つて検出さる、こさにな らう、配して満銀さしては其何れ らう、配して満銀さしては其何れ の港より検出さる、共差安なき訳。

立、満蒙に於ける 鐵道の輸送徑路 と將來の變化に

野くの短くにもて運輸系統は統一

ながあらう、殊に最近遊覧により と、「総織せられ、微楽東支線により な、は北緒さ日本さの距離は非常、 な、は北緒さ日本さの距離は非常、 ないば北緒さ日本さの距離は非常、 ▼…運賃の 金剛能引下

による内地への理能を豪考に資すれば左の妲くである〈單位哩〉 本吟順流 - 敦智園 大 連同 言はずじて歌かである、ヘルピン 地輸出が一層の便宜な得ることは

内地變らず

白眉豆 11,253,9

2.215.4 205.500.5 266.326.1 計 10.747.4 9.258.9 1.872.7 1.526.5 16.313.4 59,521,5 7.884.7 3.427.9 1.261.6 29.8 1.318.4 253.7 343.9

2,946,9 1.651.1 207.5 453.4 6.4 161.0 1.142.6 270.3 5.472.6 4.403.9 9.701.0 7.927.7 1.445.7 1.848.8 12.053.9 108.901.0 1.405.0 1.033.8 354.8 276.1 1.857.6 2,423.9

月月定限限期

二三值

七五段

1.580.8 6.058.5 1.021.3 7

理化學用器一版中 測量製圖器→修 優量 瀻器 製

費理作

大連市

小恵比須町×十

其他人

門專療治毒瘾 醫東村

产。

羊原

量表

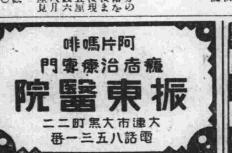
0

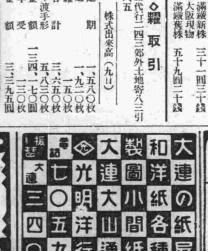
番一三五八話電

綿糸先

品

先高















株(弱保合)

B

醫

江庄場馬 ルトクド

11	4	5	-	占		Н	H	11	П
司神戶行大車	行一戰山	淮舟川行 萬達	司阪神行 煙臺	港行篇	压行 能 军	塘 古 行天津	航(天演		の大連汽船
松丁帕十	三万世	三月廿一	三月廿四	別士	三月廿四	二人大日禄	三生	清洁	出机

一阿波共同汽船

| 日清| (新州 大) 東州 (大) 東

取扱所 九 二 辛屬者商 九 二 辛 大連市山縣通電話 西八八五

期間では、 東国では、 東国では、 東国では、 東国では、 東京では、 キューナード汽船會社 新鮮州 新株式會社大連出場株式會社大連代理店 野年期新株式會社大連代理店 日本運輸財 大連出張所

可朝鲜细船速出

日市、精濱經 · 長崎 衛 衛 行 行 大阪 、豐但り 丸丸丸丸

止安高智 | 同仙銘 | 出來高 | 出來高 | 上來高 | 月月定 高二十個 海標金

(四)

需

中中

0

輸1

急

銀價の昻騰と購買力の増加で

に虎でも種々の繋形が散びられ着を18年でも、この機會を強しては2000年の世紀を完全に縦動を開びれては表しる大の反響を埋したが更に組織を多大の反響を埋したが更に組織を1940年といるなが、大連輸配を百メーセントに登録さられる。

平 一 日 米

大阪期米 前場等前場引 限 1812 1813 限 1813 1813 1814 1813

元 表 引

三弗四分二

東新 新 19000

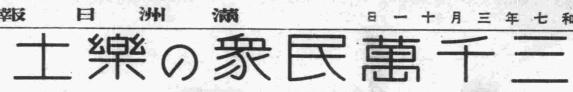
市場電

注目すべき狀勢

るため近く組合説の座談會を開催 し一大解拠をなした道堂の新儒勢の中心の北満移動に性ふ組合説の の中心の北満移動に性ふ組合説の 野の管際問題に能した道堂の新儒勢 が観音説の希室なざ寒ら大連翻店 を組合説の希室なざ寒ら大連翻店

順さも八分の一高の三十一弗四分 今頭(踏替が日米第一、第二、第三

米日十三仙高の三十一弗二



る生國洲満新





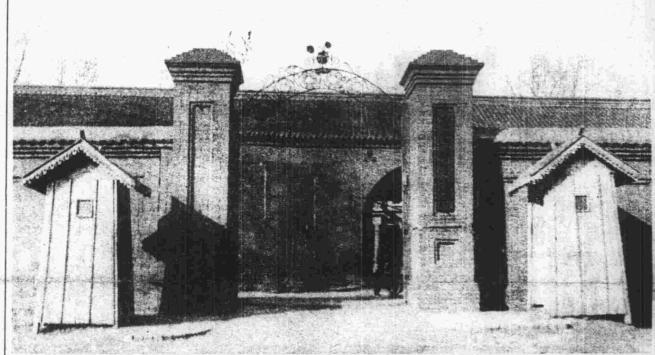
記念號



5

10

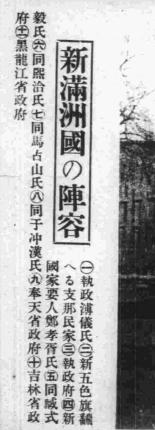




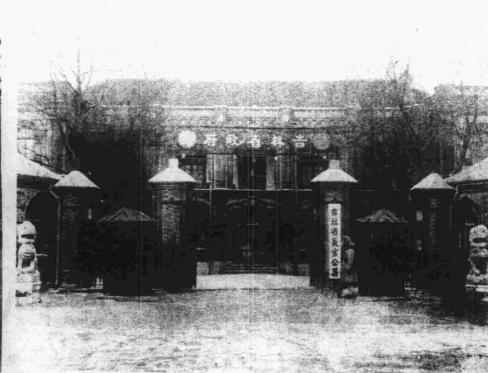














日を経験し窓

を振って意金郎、子本茂、胃疾患 市政の金融維持機関として憲宗地 市政の金融維持機関として憲宗地 市政の金融維持機関として憲宗地 世界紅卍會其他、二十成、胃疾 世界紅卍會其他、二十成、胃疾 世界紅卍會其他、二十成、胃疾 一世界紅卍會其他、二十五 世界紅卍會其他、二十五

變と

を へ後、 解じて民職に 返座を表め経 ・ 海氏は「余にもせめて人間らしい ・ 源氏は「余にもせめて人間らしい ・ 源氏は「余にもせめて人間らしい ・ のではないか」ここれが、 寒暖を

然ではないか」とこれが、

が、自己を持する事態を高く、

本 三千萬氏衆の意思に基まこの諸家 ・ 法者を継続する最高行政委員會は を表者と継続する最高行政委員會は を表者と継続する最高行政委員會は を表者とという。

治安維持の爲

(日曜金) 動は一先づ終局を遂げた
・ 横三峰町宮媛子及び南郷の東事代

激光大松

院落し支那兵は第を院落し支那兵は第を 振荡な財命とた 情報ないで 事満没続居住邦人

日

帰除を以て之等兵匪の

停つた。陳氏郎は機へこそ宏能で、連像氏、北京時代の某日、師佛

これもその戦の事。或る輕。 海氏は自ら東局二四二九に電話せら 単数機で高時、名整職々いま質出 単数機で高時、名整職々いま質出

サン暖でしたらお目にかいりたいの ですが」 でする。胡麻氏には「瀬像」とは である。胡麻氏には「瀬像」とは である。胡麻氏には「瀬像」とは うかしてゐる。サテノ

出地へに参りました」さの事。薄から可怪しな日だわい。思つてゐから可怪しな日だわい。と思つてゐ

「子弟が師の病を問ふ、それをし

振る。世界旅選手校で新り す他がポーイを相手にラケ すがのボーイを相手にラケ 中日報とかなららむ。東亞の「一周女化の促進は交通の「一周女化の促進は交通の財産は東亞は東西は一般を連れている。東西の

建國實現迄の經過 、新滿洲國 の暴政から脱れ

十月三年七和昭

が 家は産みの懦みを外に九日輝く歌 家は産みの懦みを外に九日輝く歌 家は産みの懦みを外に九日輝く歌 金 生の一壁を消滅に響かせたのでち た薄氏の側近者は原天に赴き谷がた薄氏の側近者は原天に赴き谷がた薄氏の側近者は原天に赴き谷がないに仰いて氏本主義による流洲固数を強く流鏡を観察を包含する新國家の施込、がはか、横式毅氏は照合氏さ長をいるができた。首都は長春にかられ、横式毅氏は照合氏さ長をいるが、大口を強いした。首都は長春になるが、一般に関いて、大型になった。

徳望、 學識と 平民的な 日常の 擧措 民國十三年末、職玉神の

溥儀氏の片影

はこ、日本北京公使館に殿れてき 出こ、日本北京公使館に殿れてき ここ四十日間、紫年二月に いまった。

話からスポーツ、味にテニ語からスポーツ、味にテニ った。代表版な北京館話。 のた。代表版な北京館話。

新國家の 建設決定

かの札を出した、番頭にかの札を出した、番頭に

-では百五十回にお負けてイヤごうも恐れいります びさ、この意外な監引

トは一家生計の数字に至る が、全ではそれは一場の財政部が、全ではそれは一場の財政部が、全ではそれは一場の財政部 をの下悔に構通の程態くて その下悔に構通の程態くな

得たのであった。

(=)

滿洲

器、呂紀の花鳥、优英の中

られからそれへき書頭は らぬ都費人の騰賢心をそい 生職館にまくし立てた。 「番頭さん!この皆様の表 溥氏は続れて見る氣になっ

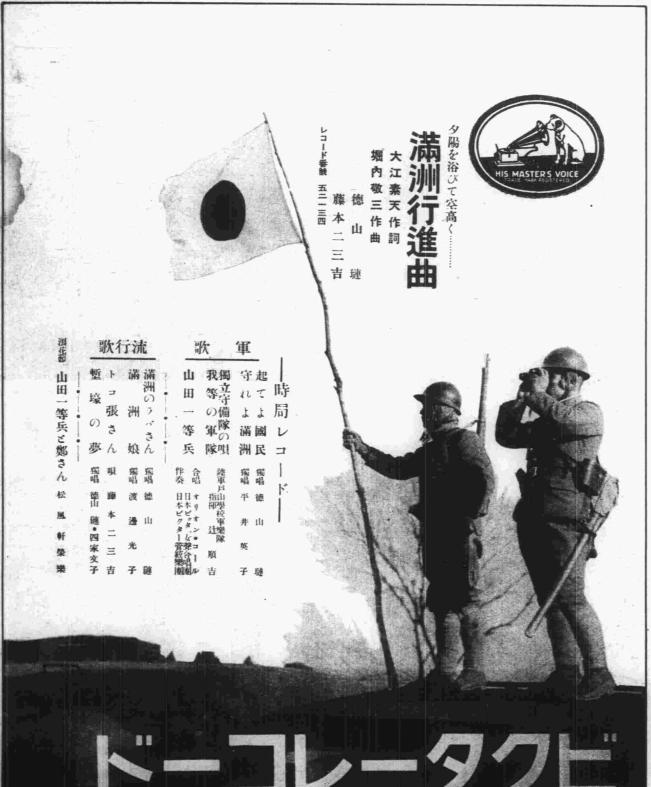
さを得た。 ・酸素して餐館の製物に親心することを得た。

る職別悪い古林の際

たいさ恐怖して とみ手をとなっている恐怖して

でに任命され、各省首脳者は非公 でに任命され、各省首脳者は非公 では、第カとつ、あったが意見の交換を は、第カとつ、あったが意見の交換を は、第カとつ、あったが意見の交換を は、第カとつ、あったが意見の交換を は、第カとの、あったが意見の交換を は、第カとの、あったが意見のない。

殿常鵬、丁产山脈氏は紫天に植食屋さなり、光ブ消蒙の歌飾につきになり、光ブ消蒙の歌飾につきになる。





人格県高、優れた政治的 清朝の軍臣で前流覚統

氏)

臧式毅氏

が、再び出て、省長に就任今日に 一致るが、新國家の起路に深り政治 いて他に無かつた事は馬いの事態

なく、終始自身に滿ちた腰野には してるたさ、されば 一覧に表し感覚してるたさ、されば 一覧に表しい。 一覧に表しい。 一覧に表しい。 一覧に表しい。 一覧に表しい。 一覧には、 一定には、 一には、 一には、

溥儀氏さ同族の氏の黄低や益々重の動揺も見なかつた、消洲族人で

軍官學校及び日本の土官學校を経れた。中古學校及び日本の土官學校を経れた。中で、生え抜きの経天中で、生え抜きの経天中に、古い保定の

ずれば左の通りである。

すれば左の通りである。

が興へる人々、その襲人は多士僚々であるが、中に國家の柱花たるべき主なる人変を紹介が興へる人々、その襲人は多士僚であるが、中に國家の柱花たるべき主なる人変を紹介を埋襲する東北軍隊の撃手に爬げられ、苦みついあつた三千萬民衆に、新しい職党を控撃する。北國の元勲さして張翀の政府を組織し、

新年の (代表)が大元は、(代表)が、(代表)

あった、作様の子供に張廷鎔さいや、翻路可長に擬せられたことも

数 氏には恐れ懶ってみたさ多門○眺 な に恐れり不良な子供があったが父

後楊宇霆に見込まれ少將参議につ

英時代一二度ペルピン特別属を宿 機繁単時代その参談長さなつた。 後無龍江省参談さなり、作相が吉

版圖

里木間々長等が委員に参加したの

にコロンバイル特別国の帯紋や哲なこして組織された東北代政委は會 一般教新国家慰出のは整機圏

イルは近年東北松香々治の擬擬にわる、船龍東部内蒙古やコロンバ 寒波者とはずことに確定してゐる 新國家はこの豫想の下に將來蒙古 四名の機能機は代に七萬七五段が単さなつてゐる。之を必能が里さなつてゐる。之を必

はより交戦の意識なくにむなくか しはより交戦の意識なくにむなくか の戦いに出戦した識でこの戦いに 出田上等兵の意気から候に襲索さの まで決まって点たが、氏の愛娘がなった。

るものなり、尚古林の北六十海里 既に軍要親されたることな立識す の事情は吉林の明代に続て早

特案内外家古が新國家の販路に入っ、 第一等に接し、南は國東州、渤海、 明縣に接し、南は國東州、渤海、 明縣に接し、南は國東州、渤海、 明縣に接し、南は國東州、渤海、 明縣に連り又圖門江流域の大部分及

そこには軍

八日の三日間に重り東北行政委成」上極めて重要さを加へてゐる、職補洲國の起襲に際と二十十六、七「聯吉の三磯道の結節話さして交通

問いる、此の地は往早帝政ロシアの北 乗りとつ、三十一軒の概を出してる 乗りとつ、三十一軒の概を出してる はなどのはは七年帝政ロシアの北

年や長端なりさ渡にもある如く、東 さへ駆はつたが、死に揃った人の 海 が、水に揃ったが、死に揃った人の 海

同三年陸軍聯兵上尉に進み、六年職機に城を駆け掛機に任ぜられる職権に任ぜられる。 馬占山氏

新國家の中心 E

長

學に通び記律を研究してぬる中、 中四離の脈き盛り、東洋脇食學校。 中四離の脈き盛り、東洋脇食學校。 回三年から作戦に低へ、後東三衛後は逃さして慰天衛の知事、突渉 後は逃さして慰天衛の知事、突渉 他その他裾機の管途にあつたが民 版し、明に及んでは蒙古族の勢力 を動き、一般に乗りては乾隆四 大地学の歌曲王、「東王、一巻神波 王師ち歌神の無持監束西並に柳條 王師ち歌神の無持監束西並に柳條

石氏

殿さした、然して光 て淡草を助けたれば高勾雕大版と英郡治を関んだが扶除の来兵あり

活動の妖態に於ても北浦州の最の中心點さして突通上勝又概率

る 諸州親係の策凝地さなって及来急いの一窓村に過ぎなかったが議園のの実材に過ぎなかったが議園ののでは、本の工場あり勝工変散版を極む、

に発ったが今次再び原天と欧勝さ四 民國十八年、撤職の故名に徴する 外 民國十八年、撤職の故名に徴する 外 修いにチチハルの地頭さなつてゐると聞めり製法機に強れば撤退しは標準りた。 本職教 く西は避りには民職襲りた。 水職教 く西は避りには根地の海にはがいる。 西端には龍沙

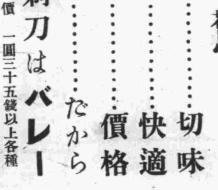
た、本縣は松花江の形根の底ありまの延長約四十路里に塗て撃域の下に 原接と支那の珍極の下に 単の延長約四十路里に塗て撃域の 下に 東方に関接と支那の珍極の下に

東太宗經典を新書に続して降も辺 地域殿を焼きて二千餘人を整骸し選 東太宗經典を石二千餘人を整骸し選 東太宗經典を焼きて二千餘人を整骸し選

初五年には高勾雎、使わりて六縣の地を選掠の元興元年高勾雕の

1 飛騰新市街はハルビンにして簡市 コンミ合稱するもの多し、絵に普通 甸には縣公署外各官衙あり、又種の部又は支那街は傾家甸なり、傅家

VALET
Auto Strop
Safety Razor





賣販でに合組費消・店貨百・店計時・店品粧化物間小・店貨雑洋和の流一所も到滿全





一度總會召集が要するものららい 公表す、に属職され第十五條第四

意紙野沈したかの様な太天の川嶺首都を長春に奪はれた氣持で一時

商して運像執政就低大與

佐興た滞りなく終った十日の城内 まれ、全市民の宏殿気分は熱狂せずれやかな執政就住と廻回の一大 は、早朝から慰認と概率の色に記述している。

昨日長春の建國祝賀

吉林旗

別に並んだ外國龍者達が長身な利にパツミキリた投げて数総の話後

名の満洲婦人が正装して来たが式 特に変た見せなかつた處から見る き彼女変は執政の便殿に廻り返儀 き彼女変は執政の便殿に廻り返儀

測さる『長春電話』

清朝舊臣の喜び

外人長身記者の優越

廊では放送局のアナリ

話してるた

もので思ばれる

(-)

吉林旗人が執政

17

接見

一接筆にて

百杯八旅の一郎

の金原風、

たっていかっていませんが確認してあるというな美しい草花が確認

れ強硬に反野したためである

陸海軍委員長

のないものがあつた、何たる政権とかったと同時に、へんほんと学師

小族の過 は、 假跳政府を 南門に認れ出て、 市部して、 大島 が形とて南塚武道を公安原第二分 が形とて南塚武道を公安原第二分 が形とて南塚武道を公安原第二分 変の低い動車さ、後方の低い動車 本部として、 大島 変の低い動車さ、後方の低い動車 ない、 変に

に請訓す

請訓する事となった、佐て一般委員會は十日午後か、紅紫を全般に取って取扱ふとしてゐる點は、滿洲事

清洲事件を含む事となるからこの點重大問題なりとし政府 「日午後か、十一日に闘き總會は來選阜々さなる見込みである である。

分科委員會はまだ審議を了るを終し得るものである 緑に得るものである。際條約神聖を支持

と 一条九日登 東光公使は正午

第一分科會

所要協議が遂げ

駆然に反した決議家が小委 かが代表部

州 名さする事等の要項は飛ぎ決定し を離かてるる、耐して常低委員會 を離かする事、その委員帳を十八

希望の言

・ で既に電機勝明のデュレーションで既に電機勝明のデュレーションで既の電機勝明のデュレーション

感激、

歡喜の市民

萬餘名のデモ

る日本概通り兩側の各階店は何

から延崎殿質の影響所附近の

代表部成行きを注目

起草了る

重光駐支公使

安保大將で協議

ジニネーツ九日發」總會決議出

總會を再召集か

紛爭解決せざる場合

奉天市民

の喜び

早朝から街は轉手古無

表部が

文文

事

本軍の撤退方法に限定し、

低等政治的條件を附さわる智保附きで変遂に應ぎ

を協議

観察慶氏の意味を観した上回答する等で、

支那側は討議の範圍を停戦實現

意とた、本日の起草委員會の議事 際僅か五十分後午後七時五十分競 際僅か五十分後午後七時五十分競 際値が五十分後午後七時那一時間後、午

単に完全なる停暇を管理するは刻下の最大意務で信す聯盟總會決議案の趣旨に準じて支那側と速かに外交々渉を開く事を希望す

州、上海事代費、臨時該會召集で 外の一般狀態、金融界諸事情、滿 外の一般狀態、金融界諸事情、滿

藏相園公訪問 支那

租界の空気で

入惡化

續

去

放火暴行事件等頻

暴狀止ま ねば

を中上年の戦は軽くから海々の盛襲 を中上年の戦なで戦手古難なしてる が、渡目の大通りの電量アーチや 動國な恋ぐサイレーンは中天に離 へり冬着の姿のま、なるが衝路橋 えて、こよなく美しい飛賀の戦争。 全く成り次の轄々の行事を待つ然 全く成り次の轄々の行事を待つ然 を全した。 大日満住民は氣も軽々に乗り映 をでした。 大日満住民は氣も軽々の行事を待つ然

〈 那に 交渉 開始 提議

重光公使、英公使を通

我軍部成行を重大制

十一日は日本側各官廳

滿洲

好閣僚

大大野神な戦らに然て一名、南郷 でこ名、郷海郷に於て一名、南郷 でこ名、郷海郷に於て一名、南郷 でころ、郷海郷にが軍は戦闘を中止し でこ名、郷海郷に対する半穏で削続 でころ、郷海郷に対する半穏で削続 では、ラギオに概に支 では、カボールであるが に、ラギオに概に支 で、我 で、我 の、我 の、またい。 で、我 の、またい。 で、我 に、ラギオに概に支 で、我 に、大 に、たったい。 で、我 に、たったい。 に、たったい。 で、たったい。 は支那側の行動

おいて國務院總理秘書郷垂氏主後三時版帖政府總務處指客

軍政部次長 財政部次長

葆孫王馮

正副議長は参照本天省長は

吉林省長

司法部總長

民政部次長

交渉には應ぜぬ

度決定する模様である、國民政府艦の儒称によれば交渉開始さるとせば英、米、佛等は参加せず日支直接【南京十日餐】 重光公使の係税交邀開始の申入れにつき解交統、汪檮蘭はての農路方につき電談が受けたが本り中に國民政府の態

0

參加

反對意見

既南京で左の短く壁明一番」瞬間中の駐日公使 蔣駐日公使の聲明 骨額が関う解決問題もこの 関なられ、且つ議補問題もこの

支那の採るべき 白川司令官 慰霊祭に 列席

原各國立曾の上で日軍の撤退方 「係各國立曾の上で日軍の撤退方」 「原各國立曾の上で日軍の撤退方」

こた聯盟規約第十條の國の習性並に政治的國

喜び漲る長春市街

軍司令官等

それが一離長

建國式當日の狀況

の男女學生から成る

一大デモは城内衛防険前

政部總長 交部總長 政部總長 政部總長

修卿洽石山毅胥 何参議所は 參議所議長

以上の短くで立法院については命 監察院長 末 定 監察院長 末 定 立法院長 未 定

『チチハル特電九日盤』 滿洲國執 戦な生と新國族は一野に北端チチ 親な生と新國族は一野に北端チチ

の盛況をであった『長春電話』 チチハル 0

参加人員 は學生物三千人概義の目かいてゐた、節

後正式發表さ 馬熙臧 古 式 山 洽毅

無難になるである。 を機でチチハルに向け帰途につく を機でチチハルに向け帰途につく

た極め非戦に終了した事は域に を極め非戦に終了した事は域に を極め非戦を表示人もあり 非常な感動な典へられた様に見 非常な感動な典へられた様に見 がある。 を極め非戦に終了した事は域に 馬氏けふ離長

會發話音

レコー

建調式の大乗に参列した内田高鐵 大変数を式終了後ヤマドホテルに訪ったの如く語る 大変のが表現し、大乗のを想か大要。 大変のが、大乗のを想か大要。 大変のが、大乗のを表現が大大要。 大変のが、大乗に参列した内田高鐵

鄭重嚴肅を極 内田總裁感想を語 遙かに祝賀 む 當日の .3 旅順

年後三時代より陸軍委員會四時か 年後三時代より陸軍委員會四時か り被軍委員會を開き委員会四時か ののカールグアイ代表プエロ氏、海軍ノ た、之は王正慈が英米の誤解を恐いた。 これにより後陽で野豚国突映後問題につき候等決定を見ざりも事短期と さるべしこ見られてゐた新國家の 政府組織法及び人權保證條例、そ の健軍要法令、法律等は、同日中 に登表を見ず、多分十一日乃至、 十三日法には養表されるものご觀 な掛けお無り勝ぎを変じてるる
ロンがつくので演蒙人は感觀の整 要人ご同行令朝洛陽から南京着、『南京十日数』汗精衛は何應致等 對露國交回復

九大附錄贈呈

大谷伯の賀表

本校 進則 呈見

淅州國建國式で同時に、九日

十三日迄に發表

重要諸法令

【長春電話】

寒費・一ヶ月一間廿銭

一れの宅もらら 絶英今平るの社り語語と 見る成獨毎開の有好語こ和人扉會第はでそを せ 。 積習日講講名のをそ來には各二既はれ見滿 ら先がで二小座なチ準飛!の 方のになら給す 卒三とンすの况 業月耳スる武来 者かかだに器!! くを出語で?は何假にの

讀 が Br Cr O

國際

聯盟"支那問題

東京九日餐』東拓總裁は高山長 東拓總裁就任の突渉があつたの 東拓總裁就任の突渉があつたの でやつてみるつもりだ、受話と でやつて政治方面は餘り好まねの で北際もさの古巣にもざる意味 で東拓總裁就任の突渉があつたの もつて政治方面は餘り好まねの

恩田氏略歷

、一郎、佐八の東京生活動年間の 駅の身のまはりに就いては無儀 駅の身のまはりに就いては無儀

現在の情勢から
事件については
が非常な元績で
が非常な元績で
が非常な元績で
が非常な元績で

「ダブリン九日餐」今次のアイル ランド自由||機・製・のに、デヴァー フエイル藍(共和藍)がコスグレー
ウ氏の政府藍を陸低し第一窓と なつたが希結果を目レイターまし に開かれる新融會は機然八十一

◆定期後場(單位經)

意見其陳する所あつたが陸根は地域やの他國家の重要問題に野すた 間等公本 訪び満洲新國家、上海市

政局變化

ラ

陸相語 園公を

訪問後

設け器田瀬治氏以下七氏か帰げた下十氏を帰げる解ける無いとというない。 では、 一大大ないのでは、 一大ないのでは、 これないのでは、 一はないのでは、 一はないのでは、 一はないのでは、 一はないのでは、 一はないのでは、 一はないのでは、 一はないのでは、 一はないのでは、 一

石

明認なかるべい場合に

ほんこん丸

脈袋變らず

の途なからむか。

第一にあらゆる國際約束は、

概念ないアイルランド今後の政局 概範に複数せる膨精パレラ氏が首。 を共和派がアイルランド共和國大 を対和派がアイルランド共和國大

九

が表するでは、 が変なを検索せざるの義務を関係 ができませざるの義務を関係

を おいても終れ不戦係続においても て、滿洲における日本の正常行動 殿 おいても終れて、職つて懸飾せ の髪更を表むる処き、道面の措置が続せんさするに驚り 髪に終るべきのみならず、抑も又 の といれば、 といれば、

端川建図記念號 社は今十一日「高洲國銀

東拓總裁

受諾理由

死なした

じて出來得る限り

りの嫁意を寄せて

民政政務調查會

電東京特電九日藝』新滿洲國の元 ・ 本日市外将藤町天沼二五二竹田宗 本日市外将藤町天沼二五二竹田宗 本日市外将藤町天沼二五二竹田宗 本日市外将藤町天沼二五二竹田宗

学に餘念ないが、 学に餘念ないが、 等に餘念ないが、 等に餘念ないが、 ちう に依れば

へ倉喜八郎氏であっ 人倉喜八郎氏であられ 、今極樂寺

高山長幸氏談

生前氏さ親交のあつた山田三平氏

山田三平氏談

日

あるが、以上の主流の間にも、道徳の

十三側も三十側に削減、計千六十三側も三十側に能止、高等女學校管方十側に修止、高等女學校管大の中分位は父兄會その他の寄附に依つて完成とても多別を仰いだら如學校に於ても寄附を仰いだ。 場対よび觀覽席等は寄附を仰いだら如學校に於ても寄附を仰いた。 場対よび觀覽席等は寄附を仰いだら如何この説が出て論議の結果脱衣何ごの説が出て論議の結果脱衣何之の他の寄開な中に於ても寄附を仰いだら如學校に於ても寄附を仰いだら如學校に於ても寄附を仰いだ。 場対よび觀覽席等は寄附を仰いだの場話が後週とさる

滿鐵入社希望者

本年は特に多い

七十五名採用に二千名應募

た昭和繁編所州内設置期成同盟會を超大阪警大病院に入院中であっ

王道政治を期待

十三日頃長春

薄執政合弟 溥傑氏談

なごさ、相談に來る向きもあるであることだけは、否定出來ない事質であることだけは、否定出來ない事質である

記念を表現の に於て死妻とた旨君滅してるた会 に於て死妻とた旨君滅してるた会 である。 では、 でないで、 では、 でないで、 では、 でないで、 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 で

滿洲農業施設立案

内以行十五

ずらさは傷中

日左の通り数令された

校停止さの探示

は如何なる原

東拓總裁發令

はり、國家の闘争さなり、而人の闘争さなり、階級の闘争

今まで保留さなつてゐた総出經常 し大性の歌葉歌歌を終つたが更に し大性の歌葉歌歌を終つたが更に し大性の歌葉歌歌を終つたが更に を動きし同七時学覧會した。なは 一を動きし同七時学覧會した。なは 一を動きし同七時学覧會した。なは 一を動きし同七時学覧會した。なは 一ではなったのは市長給料規順の ではなったのは市長給料規順の ではなかった炒め特殊を寄附 憂から問題になったものである

古、衛生費 二十七萬六千七十圓 一千圓を一八萬四千四百七十圓 一十圓を一萬九千四百圓に增 一十圓を一萬九千四百圓に增 同様保留になってるた該出臨時部 現行家懇談會では先づ土が機緩よ 銀行家懇談會では先づ土が機緩よ まま九日餐 九日日銀にて 九日日銀にて

ま希望を述べ之に對し民間銀行家に金融疏通を臨困ならしむるのみであるから他の方法に依つて金融疏通が監回て貰ひ度いて金融疏通が監回て貰ひ度いて金融流通が監回で、

- 二、大蔵省券の入札簽行を止めて 一、軍事公債は11銀引受とする事 一、軍事公債は11銀引受とする事

恩田熊壽取氏

事はない機様である 事はない機様である 事はない機様である

高る将来の企圖について説明し 本でまであらうさいふ意見か述。 がで来た、関公は軍部がこの難べ で来た、関公は軍部がこの難べ で来た、関公は軍部がこの難べ で来た、関公は軍部がこの難べ で来た、関公は軍部がこの難べ で来た、関公は軍部がこの難べ

三、有力銀行が日銀貸出を求むる

るが酸に使用されておるのか疑さのことであります、秘等は彼として七十銭宛綱めてぬますが果してそれが如何な

りませんし、學校はしたのはいませんか、

◆ごうか學校監修 た汲んで収し餘を があるつては下す り割らつては下す

九日逝去 內地在 二千五

武・渡邊施策、崇称一の三氏は内 一般というるが既に押上孝 一般というるが既に押上孝 に動選議員の映員五名な全部補充 に動選議員の映員五名な全部補充 のであるが既に押上孝

缺員五名

製鋼所問題で上京の途

八府縣の狀

辭任せず

『東京十日餐』中で内根の漁児など身際に内根的身は静低の意思など事で が明瞭さなつたので臨時診會前特が明瞭さなつたので臨時診會に臨む事で た機と現状の鑑で診會に臨む事で た機と現状の鑑で診會に臨む事で た機と現状の鑑で診會に臨む事で を持たり、中機内根の漁児所とは

商業學校長へ

ないが、 は知りません おいが 数の ですうか、 苦い事でせうか、 苦い事でせうか、 まですうか、 までする かっぱ まです かい は 美田 かけ は 大田 かけ ません は 大田 かりません は 大田 かりません は 大田 かりません は 大田 かり かった は いった いった は いった は

父

すが、新なると

期(單位十段)

理市は弱含み商駅を呈す 後場 常市弱含み 地株保合

市 況









は米第四回三十一男八分の一を入し米第四回三十一男八分の一を入

鈔



● 現物後場、銀建) ・ 現物後場、銀建) ・ は保(袋込四九四)四九〇〇 ・ は保(袋込四九四〇四九〇〇 ・ は水高 五十車 ・ 出水高 五十車 ・ 出水高 一萬五千枚 ・ 出来高 一萬五千枚 ・ 出来高 一三一〇一三〇〇 ・ 出来高 二千五百箱 ・ 出来高 二千五百箱 ・ 出来高 二千五百箱 ・ 出来高 二千五百箱



電話六六〇六番 寺 但馬町西廣場上 局



復だどにか一入處愛は男はだされている。 でろうとなったりかりはれてはれている。 でろうとはれてはれている。 でろうとはいる。 一人の場合をはない。 はない、 はない。 はな。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。

は何を秘めてゐるか? でかな婚等の陰に彼 を懊惱歡喜せしめた名 小説解格歌歌加へられた。

Sammanamine and



いのはを !み時知

元れたであるのはを

ち

草(シベラス)

カヤツリの葉を一寸位の

幼い魂を育てる

魁け

ベンケイ草| セイロン、 觀葉植物の挿

或る人はさらに上級の學校に、

り日告のよい温かい所に出しますと 下ろしましたら水盤に土を入れ窓 でん/繁りますから五月頃にな すん/繁りますから五月頃にな 健康狀態を調べるここ 婦人科問公一 様にいたしますさ四、五尺の高さ繁るに従って大きい水盤にうつす た添へる植物で に生長します、夏の暑い日に意味 原正平氏談 8

あり くつく素晴らしいのでも十響館にちやんさヘッドラ



女中 スト 経順四六電五〇 大部 本人来談あれた 大郷名入用住 大田素人

貸衣 紫糖調用 電話22645番

不用品壽賈

河連町二丁目裏通 日端洋行 日本八八五

電五二九三番

貸衣 雲 日陸町 三浦屋

裳

関
町二〇七 紅葉館電六三九七 中良宿所林安應相談西公中良宿所林安應相談西公

宿

電四九一六

専門の番音器修繕は

電話七九〇三番に

電九四二三

即登時炭揚前聽雨館電表完合百事吟撥永滯在尙勉強含事夜具共月廿七圓の割

建築二十一野

邦文

大山通り 小林又七支店中 畵 庶 語

送

ないに、郭公たたづれました。郭公たたづれました。郭公たたづれました。郭公たたがは、一番おし 「郭公さん」

た、窓は、蛇をおこしまし

かみて「きい、きい、きい」さなお彼さんは、まつかにやけた空

旗野二郎 が、郭公は解ひつぶ

拾銭増 参五指指 無 順 類 競 類 度

子供 天帆 塵紙 算盤の御用は 白帆 は無知に限る 紙は此甲に限る高級紙生漉お使

横河島ミシン店電大六八四 大山道・ナニケ樂器店 東東の三山島紙 戦争中に家庭向徳用の生演 を登置元 拓茂洋行紙店 クサ

中風

家 政 婦 派遣 附 添 婦 派遣 前 動 (家事 1 切病人附係) 育員大事集派遣多位本人來會 育員大事集派遣多位本人來會 至 三 浦 芳 子 聖徳毎 1 丁目三四六 電話 九 二 六 六番

通勤家政婦 東京 後野 辞子 東京 後野 辞子 東京 後野 辞子 二不

西通九三流電クラブ前 懇切に手ほごき致ます 雜 五資會

大連市条川二番地条州ビルニ
五八部北須町停留所削
大連市条川二番地条州ビルニ
五八部北須町停留所削
大連市条川二番地条州ビルニ
五八部北須町停留所削
大・ 気・ 党 器電源具氣

光速消伊勢町 佐井 田洋 行

ある

即大敵倒れの先きに

理三〇一五・八六八八番 町 山 形 洋 行 野熱器及スタンド 組 ・ 一 一 電 位

類だ 二十球 舎 園 五 拾録 要 間 三十球 舎 園 五 拾録 期 同 四 九 一 郷 話 ハ 三 六 二 郷 話 ハ 三 六 二 郷 話 ハ 三 六 二 郷 話 ハ 三 六 二 郷 話 ハ 三 六 二 郷 話 ハ 三 六 二 郷 話 ハ 三 六 二 郷 話 ハ 三 六 二 郷 計 の 四 九 一 郷 計 の 四 九 一 郷 音 間 五 拾録

大分安い

信用ある店の

風呂庭付貴三〇 園呂庭付貴三〇 南川當眺第 一二

文家 桃源毫六六

貸家 他町八九賞三

確實な良品

賑はす餘興ご接待

學用子供用品の陳列會

れてるます、大廣場や中央公園のれさうなよろこび主笑器にみたさ 乳母単や三輪車にのつた小さい子 もことも子供等のはちき

になりました、参加商店は とよては、東上ドード、コロ午前九時華々しく蓋を開ける事 洋行の新譜レコード、コロ監察合映所館會はいよく十一通り餘興さして日素支店を批主館の學生般、欅用品及子供一の申込にも應する答です

の機能もしますし無日五百名な限が無数に公開します、保健所では特に

南向 料圖書館服實館 登家を経六四半三、 借度・信任 貸家 いろくあり

六、四牛、二五 信濃町市場正門前公 西公園町六九 電ワ 金融 科 電話八二〇三番

思給 電話低利無手数料融通電七二六九番大連春日町向陽社電七二六九番大連春日町向陽社電台二六九番大連春日町向陽社 三番地ノ五 永島 電二一六七八 別会 対学 対対 大連市淡路町 成犬あり 大連市西瀬リ 小島倒名種販賣(電三四五一年大連市西通り六十三 未成犬、

質る番犬、醫察犬、強 質る番犬、醫察犬、 強 田 畜 犬 商 會

pompeian

優雅な香り

地肌からの美しさに附く

ボンピアン粉おしろいは其の香り床しくツキも良く ノビも好く艷々しくお肌の臓質を増す理想的な粉は

到る所の著名雑貨店・小間物化粧品店・築店及消費組合にあり

白。淡紅。黃色。肌色●

ポンセアン製品

マツサージクリーム デー(書)クリーム ナイト(夜)クリーム ローズクリーム 水 お も ろ い 日 紅・タ ル ク

お顔を一層生々とする

電話二一〇匹七番電話二一〇匹七番

院長伊滕羨蒙電六四七三專門實費診療藥則二惠此專門實費診療藥則二惠此

電八六七五番

会社 で行ぶ引ある方に極く簡明 保験部日立装前信失知 共他郷田は歌作歌す二葉 別 保験部日立装前信失知 保験部日立装前信失知 にまず二葉 別 に 行ぶ引ある方に極く簡

三河町が沿り込みへ

ピア

邦文 知期養成

で夜間)

不用 品高價買入御線次第参上 古着 特別高價買入御線次第参上 中孫可ェベスキ電話三九一四番 特別高價買及初線次第参上 中孫可ェベスキ電話三二五九五 市道具高價買入

牛乳

不用 品親切本位質受 電七四三五 高電質受 電七四三五

琴古流

金融金

河町 速成教授

野馬町四六 呼出電七二二四 舞馬町四六 呼出電七二二四

電話七三七〇番 一般質物何でも特別金質受も致 を 流 ラ ジ オ 交 流 ラ ジ オ 交 流 ラ ジ オ マ 流 ラ ジ オ マ 流 ラ ジ オ ・シン機蓄音機 ・シン機蓄音機 ・シン機・ ・シン オ

店裏小路の萬壽屋質店

★版·東小·京城·大連

利化消粉殿質白蛋力强最 シノチフゲギ

は實に强力なり

特質販賣等級可不完整的四四九年

るエンチーム(酸素)にしてを米糠に繁殖せしめて得た 本剤は特殊のアスペルギス 蛋白質機粉に對する消化力

にんしんあんまれる。 で、堂主風呂崎町に五重六六八番 サージ、あんぶく

製造儿

四十二年十一〇四 大平二年 電話二六二年 電話三六二年 一〇四

でにありでは、一人の一人を

智 2 9لو 力 1 10 0 慈悲

親

ヤタボンガウサ

歌音響楽式な騒行することになり 中領を動してそれたく盛大な卒業 中領を動してそれたく盛大な卒業 日本の本業式を最初に本月

の大

卒

式

H 各

取

女間 静にして日常

女

學

河連町二〇一番 電八九四八番

のみのコバタ

うつく

送き

際治お認みの方は

整骨 春日町ミドリ温泉前 下車若狭町入左

(木村城内)

家

無食

\$3

たが

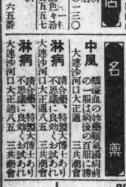
U

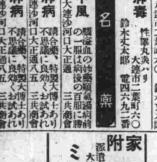
倒は

岡部紹介所

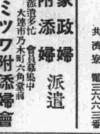
◇ 校

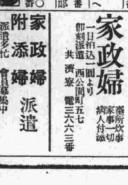
でせうがこれも五圓二十錢優からに設も安全なものさいへばあのと

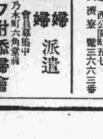


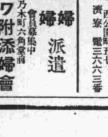




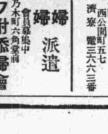


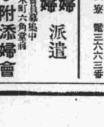


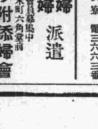


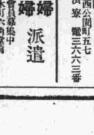


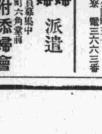


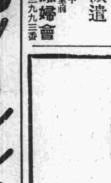


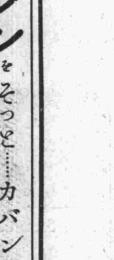












藥煙店草

は左の城く決定し八日簽表された

御、河南街を通り會場に入る前より糧米行新開門、大馬

沸き起る

式典と祝賀 建國祝賀の大歡聲 けふ日滿双方の祝賀

本語で表土を記している。 「震響」 鑑賞にかける満洲側延岡 にない、 を要人全部學生態を別というでは、 大地になて経しれ王季良長、自治指 で表せられ際式の都に次で数十後 変せられ際式の都に次で数十後 変せられ際式の都に次で数十後 で数せられ際式の都に次で数十後 で数せられ際式の都に次で数十後 で数ける素樂さ學生際の延岡歌台 中は愛園歌歌大會が開催される、全市 の爆竹さ奏樂さ學生際の延岡歌台 中は愛園歌歌大會が開催される、全市 れ複談式終るや王委良長、自治指 で表演要が、また。 で表述を解析で表生際の近回歌台 中は愛園歌なのが、と言いる、全市 の場では、また。 を言いる、と言いる、と言いる。 では、は一般であり、一には一端では、 と言いる、と言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる、と言いる。 を言いる。 を言いな。 を言いな。

執政就任遙拜式

大不足に來し到底三月までの諸事大不足に來し到底三月までの諸事就は總部一萬一千八百五十一個で高級神統金追加方を申除中のは總部一萬一千八百五十一個であるが應稅援廉時費は全然能於を

を後に難して撃亡か音の概率を 古を際に難して撃亡か音の概率を なし教校以下に温食料を御下賜に なしればいない。

海城蓋平兩縣の盛儀

大本郷官民は敷目前より谷委員と 水工門 の心を嫌い現出せられる郷で今日こそ 鍛錦鮨がりての歴史を郷官民は敷目前より谷委員と がる響で今日こそ 鍛錦鮨がりての歴史を順官民は敷目前より谷委員と がる響で今日こそ 鍛砂がある日であらう。 物各種學體代表各機關代表等約

を局長及委員並に地方軍要人 成ても同時類な期と緊公署に 場行されたので漸域緊蓋平

日左記により開催することになり

國萬歲、奏樂、一同退場、祝賀同最敬禮、新政權啟奏樂、國旗抵揚、一同養富、奏樂、國旗抵揚、一により舉行された も莊厳に左の式次

旗行列に提灯行列に

吉林未曾有の催し

『族順』満洲國処設に際と旅順で 旅順の祝賀宴 越し大に祝福

安東の催し

前十時より祝賀式聚行終つて、シトレ、御菓子、お茶、衛午後八融賀式は都合により中止、十日午 する戲並はバン、スープ、餐、ア祝賀式は都合により中止、十日午 する戲並はバン、スープ、餐、ア祝賀式は都合により中止、十日午 する戲並はバン、スープ、餐、ア祝賀式は都合により中止、十日午 する戲並はバン、スープ、餐、ア たに支那人側にては除興さして芝 ・高展節等の能したなし歌戸は

税費會か能と懲戒の忱を表した 三月十日午前十時同會に然て越國 三月十日午前十時同會に然て越國 開原の祝賀會

三日に三る祝典

日滿各機關をあげて

四平街の催し

【四平街】滿洲國建國式の祝賀會

遼陽官民の建國祝賀

業生代表の答案とは表の答案と **愛兄等百餘**

安

道路等を消毒

業式 新義州商 業卒

・ 動したとのことである。 を通過し阿徽卓甸子標 動したとのことである。 が、或は海

滿洲號献金

昌闘の分

酒肴料を献金

州就飲納運動の壯東あるか聞き協

日と同地領事館出張所を經て本署に議の結果左記の如く百六個を離出別就職納運動の別等まです。

小林陸喜、山路游男 地域在航車人分會第十二班他上班 地域在航車人分會第十二班他上班 では、一般行機・南州鉄地造資金とも の他途につき協議中のところ今時 がきれたのであったがその後有金 の他途につき協議中のところ今時 である。

電氣の料金

・ 未定二 暖線逐次加はるに從ひ凍結し がなって して居 「監地管架総會は単大炭酸監腸に野に低り一般に高側に適ぎるとされ

◆千蔵町一九 中川和三氏及女美佐子磯一日出生 佐子磯一日出生

御めて

「火と散歩しやうか」

察りは

難く街を歩きまはるさ

酒生醫院

「もう行かなけれやいけないだらう。ちゃ、また達はうか」

大陸市三河町二

真美に、彼の心が識めない。

範囲なる電氣装飾を偽し十二分に 鳳凰城の

前分の外に

山域を選挙した回溯地ではないから思される

討伐除歸る

の終一割見賞であること の終一割見賞であること の終一割見賞であること の終一割見賞であること の終一割り賞であること の終一割り賞であること の終一割り賞であること

震井町、旭町、棚町、大震町、常盤町、常盤町、常盤町、常盤町

全市の人々に呼びかけるべく既に 八山から着手された 大当でも着手された が民に完成し五世の書

建國祝賀を彈壓

蘇炳文、非を覺つて

非でやこ思料 ・ 集他某國の ・ 集他某國の ・ とは、丁越

來吉阿南侍從武官

安東地方事務所本年度公司後算に公司の未納或はその他の關係から

鐵西公學校の

建國祝賀式

公費補給金

と新国家建設さられ背後地に道す を登成策につき倉庫業の際設等に でいて協議する處あつた

吉

林

め十、十一、十二の三日間は保務安東縣各機関は建國成立脱貨のほ

おり地が事務所會議室に於て會合統山各機關代表者は九日午後二時

策を協議

附屬地發展

建國祝賀休業

ロンバイルにおいて

現に角逃げ足の早いことに全更 現に放火し数戸な全境せもめ 、公安局は助かつ ながら驚いた、公安局は助かつ にがその横の小學校が焼かれた では、公安局は助かつ

營口の祝宴

頭目二名を射殺

平北警察隊の

度一飯田関原守備隊長は目下

飯田守備隊長

原

李筠生氏歸鳳

支那警察に寄附

東京には、
 東京には、
 東京には、
 東京には、
 東京に、
 東京に、

 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、

 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、
 東京に、

で に 医車省より支給され と 煙車多数 と に と 脱田 財政 子倫 感 と は 目下 計画の た

を寄贈したが際真は同隊長の厚意

殉職消防弔慰金

前九時十八分養別車にて來載され

阿南侍從武官一行は來る二十日午流洲軍に墾旨傳達のため來滿中の

通過

阿南侍從武官

「やつばりおに塗ってよかった」

話して磨たい

「僕は、逢ふことを躊躇したんだ

有情な、実はずに磨るではないか。 きっつちやつて唇に微が、まるで かない、新らしい愛人をみつけたや あるではないか。

開原婦人代表

心た第三消防員支那人張玉恒氏に必然新変州府機町の火災の折殉職

避難鮮人。慰問

各方面から形態金八日迄に既に二野する府民の同様は毅然と集まり

安部兼藏氏逝く

石

る祝賀大倉新市場、守備隊、附属地を練り歩きる祝賀大倉の大倉の一種では、守備隊、附属地を練り歩き 龍舞、喇叭、響楽、麒麟、男女中龍舞、喇叭、響楽、麒麟、男女中

は百圃をの他郷島を敷を押収版は 一、職鬼一〇、大洋 一、職鬼一〇、大洋 一、大洋

一、連儀以推載式=九日午後三時通事行はる 建國祝典

高粱気に放火し自動域の側にある空地に野域の側にある空地に野域の側にある空地に野域の側にある空地に野域の側にあるがその後無さいのでは、

工業區等に放火した東

奉天城の

襲擊計

人間著な感覚と見郷品を贈った 人間解脱基酸熱人外線所を訪り親 際原婦人職合會代表音數名は三月

百三十四個餘に達した

順

奇特な兵士

第一回の

名あつた安部を設定する。 名あった安部を設定を を選に九コ號三時が膨らた氏は縦尉 選に九コ號三時が膨らた氏は縦尉 を選に九コ號三時が膨らた氏は縦尉 を選れ木幡村大学内地幡の人大 を表したなほればいることが

幡龍寺に於て佛式春儀を管む答

房店

石炭の共同

鮮人に分與 慰同品を避難

清潔デ

開原縣の

鞍山の支那人勞務員を

に鮮人に分配したに鮮人に分配した。本橋主事はその無志に感じ直

芝居に招いて軟待 こさが短明した問題等は 要できない。 原地方事務所本標社會主事をあるとことであった。 原地方事務所本標社會主事をあるというではた上 一変出と連続された動間袋を敷むしたこの では、 ののでは、 張榮金(量)は

で展しり来風せる郷野大隈より来風せる郷野大隈より来風せる郷野 遊野隊で協力 る四十餘名は 鳳城縣第一區 滿洲號献金 開原い分

に 東林重吉、長森寺主、上田二資 歴本金五園づゝ 森田一、大磯仙治 歴本金五園づゝ 森田一、大磯仙治 し領事館出張所を終て鐵縦に送金 脱壁を傷へ聞きた記五十圓を贈出 鐵 無順市中は結米中充分なる議院が は解状肺で疾に不認べ監験し昨今 固に懸花や花炭ガラ等散配し昨今 固に懸花や花炭ガラ等散配し昨今 の冷燃デーを施行し道路及び空地 の大掃除、胸茶、森炭ガラ等散配し昨今 が飛出を行り無風をして住み心地 でよき健康地とすることともたので まき健康地とすることともたので

一、住宅内外地先道路、二米突道 は、一定、塵芥箱は可成裏側に置き、表 で、塵芥箱は可成裏側に置き、表 で、便所の汲取口破損しある向は は、作者のは修繕すること 常に綺麗にして氣持よく利用すにしたり雑品を放置したりせずにしたり雑品を放置したりせず五、路地及二米突道路は特に物置速に修繕すること

₹: 郎氏は八日着任各所艦訪挨拶を逸新任本房店守備艦附中島伊藤長三 伊藤中尉着任

事さなり前の浦銀貯炭場に於て整洋行の二軒に於て販賣し乗りとが、今回共同と一ケ所に於て販賣し乗りとが

清水新署長

きめて出掛けたんだ

でなかつたら、居所を知つても

「亮行に無理に誘はれて、度胸を

うちめしいやうに、云

行かうさ云ふのだ。

で、二人は

新庭順智等を主任さ共に九日自動族同常谷野を主任さ共に九日自動族同常谷野を主任さ共に九日自動 星子衛生課長 は九川在 森氏の別宴 るやうに 事美は、男の心を讃まうさす

た主教五十餘名、盛會を纏めた 大主義に長は九日午後六時から青葉に 大主義に長いの盛天な送別変ん受け た主義に すわし 「時間は?」 こって背話をしたつてはじまらな くりこて――僧も云へなくなつて 「これから、どつか行かないか」 「まだ大丈夫」 まつて ゆつくりしてま

ださ云つて――沈徳別れなくて

彼女は、践つてごこまでもついて

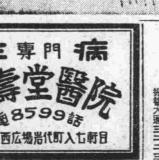
病

「ごこかに行かう」

さいくのか、それさも、このまとってしまいのか。それさも、このまとってしまふのか。 ない、二人はかうして、又近づいれま、目の前の行先ばかりでは お焼の出来ない二人が、また親 人はないと心に思ひつめながら、 それは空想ださいふ気がする。 これから何處に 泌尿器 病 井上醫院 生殖器障碍 性病 物品排

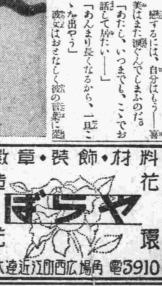
を最近知つて唐たんだが――」

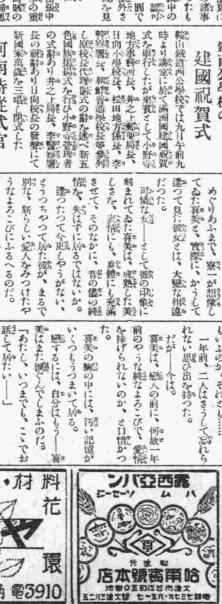
って外に出た。











を かくりあふまで、家一が想像し めくりあふまで、家一が想像し そのあとこ 第二の反抗四 人名の間にある sp. 金 女 剛

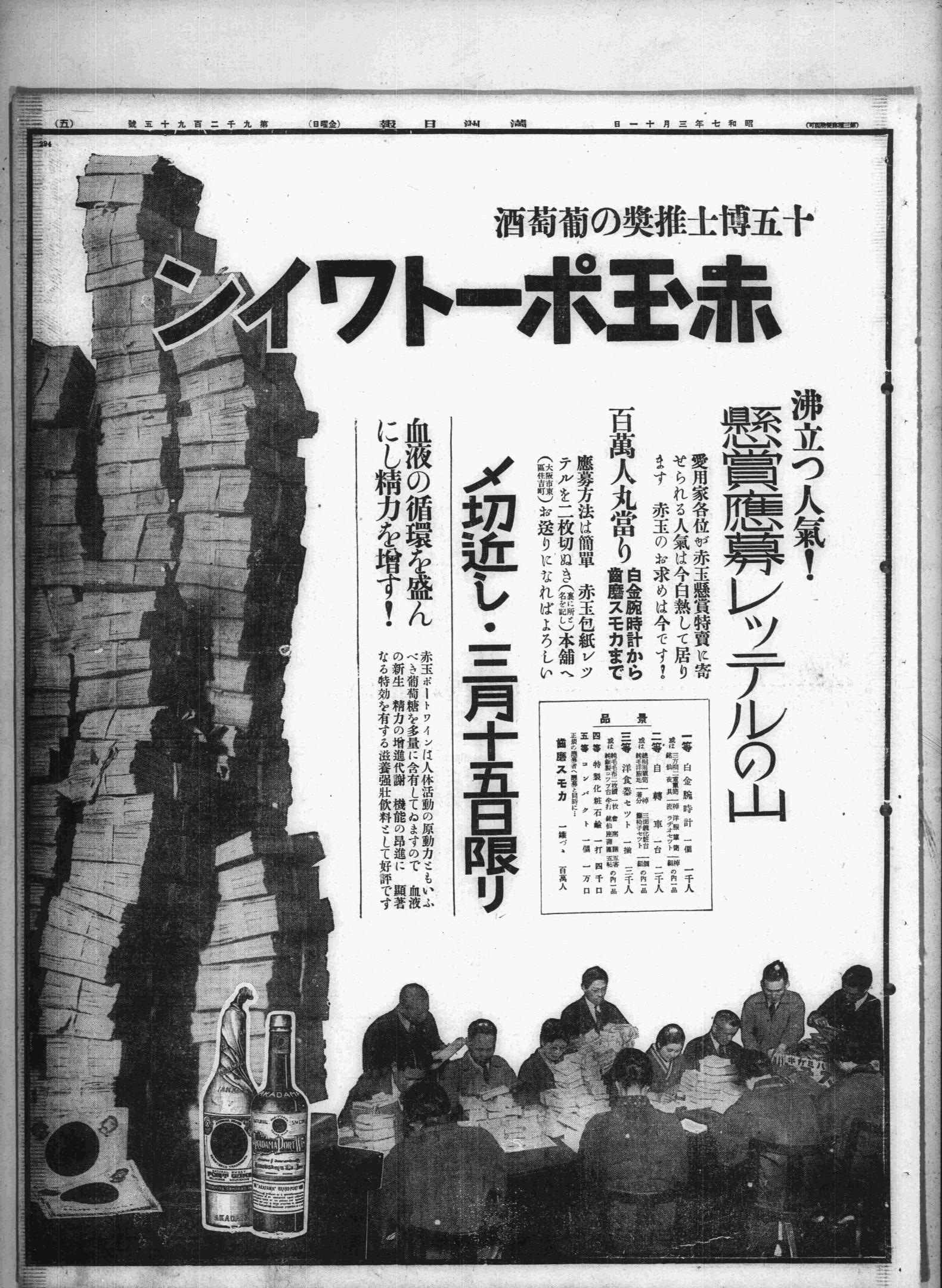
もいふのか。それさも…… もいふのか。それさも…… れない思び出を持つた。

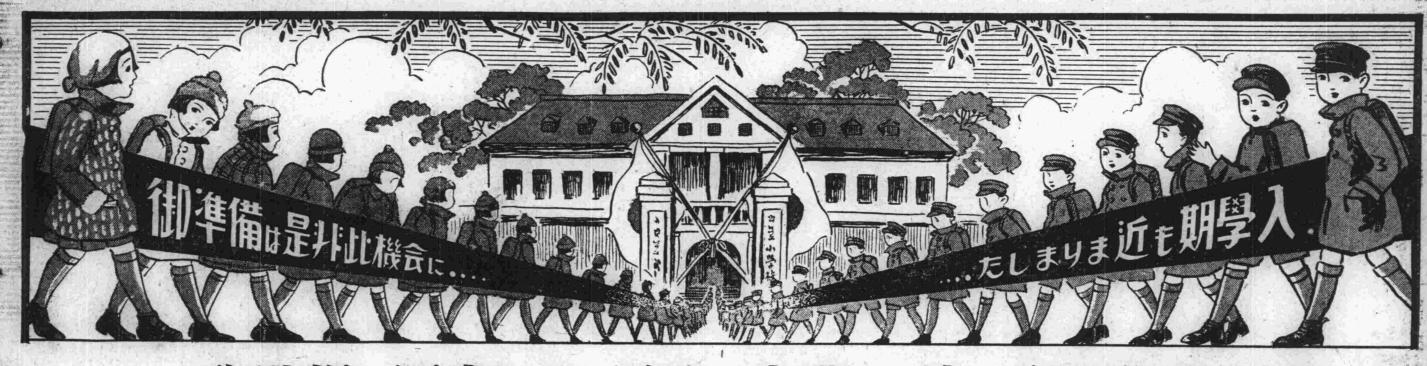
70 6

▲本店車司令官 七日朝長春へ ▲山岡願東長官 九日夜輝版 ▲内田鴻嶽總裁 周上 ▲增田道義氏(朝鮮總督府暨祭官
■村上同理事 同上 ◆信堂草雄氏、製飯都 後二時五十分灌列基 後二時五十分灌列基 十二日鞍山製皷所視 十二日鞍山製皷所視 中二日鞍山製皷所視 財か同伴、七日二州二 駅か同伴、七日二州二 駅か同伴、七日二州二

沿線往來

軟性下疳病 院醫中





すまし致供提に價安の最一揃取に富豊をて總の品用學服生學

階三 社報日洲滿於間日三でま日三十りま日一十月三 間 供提價廉別特樣同會列陳もてに店商加參各=



文具百貨店

入學及進級の

お祝に

は

帶行

御洋服をお勸め申上ます

田通

的用實

賣

新學期に際し優良プラトン萬年筆月賦提供優待

(十割割戻抽籤券附)

大連市伊勢町魚鄉角

行紙 店

増進 選 利 ブ お子様の虫下しには 薬菓子 ブルトーゼには五製剤あり 阪大 藤澤 廿錢·五十錢·一圓·二圓 ニンゼリ プアヤ 年ヶ月分四・三〇 友吉商

大連羅紗貿易商會城町 女學生服・オー 春物婦人子供服

陳列即賣(豫約御注文に應じます)

大山通三越筋向滿蒙毛織裁縫部

電話二二六〇八番

42 奉特 主催

はないないであったコードコンサートのはないであれる一型活動寫真の映寫 大日活、の入場券を進呈致します 御買上げ二圓毎に帝國館、中央館 日報社

務服」服

名聲著名信用篤き

白木屋の

耐久强靱

不變色

體裁優美

褂三六連大替振

滿蒙毛織株式會社 電話四七七九番 直

春向服地新荷着 其他毛織物各種



市浪速町

振替大連五四O番 電話五一七五番 上五番

電話二二一三三番

特に廉價を以て

椅子、本棚、 本箱

春のモスリン意 陳列三特賣 モ スリ 1

HERETTER ELECTRICAL CONTRACTOR CO

だは左うてある。

幸校

奉天の難記念日

日

城に還河遊ばされた時四十分河出門、諸島

群臣等と野戦式御粋

盛觀を呈した

奉天の建國祝賀會

參會者千餘人

九

遊戦ご特空に影響して此の日を脱が航空隊の艦成した人機の飛行機が前中上空ん域映高等飛行、微戦が前中上空ん域映高等飛行、微戦が高等飛行、微戦が大震が振空には撃兢から、わ

人連の建國祝賀會

明日大々的に撃行

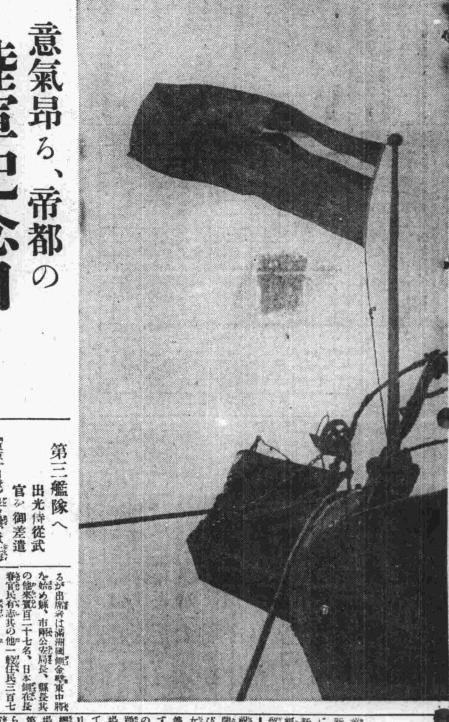
萬五千人の旗行列

=

た即き地を眺め今日のよき日を語

遼陽の陸軍記

司官舎西側、大連神社、出雲社、大原場一周、東山の、信濃町、代源・東岡街、東岡街、東岡街、東岡街、東田町、代源・東岡町、東岡町、東田・大原場一周、東田町、電



意氣昂る 陸軍記念日

聖上親臨して、 勇士遺品をみそなはせらる 満洲上海の

はれた、安義主なる官民多数参加 電安東脳政府に於ける越國殿智式は民 安東脳政府に於ける越國殿智式は民

安東の祝賀式

の前途た壽ぎて午後一時頃散會し、を明には二十七年前の往事な追憶 た【選陽電話】 上海の記念日 第三編隊へ差遣さる 同武官は十四日神戸發龍田丸で ででの地定である

 注案十日数】植田○駅長以下上
 と選擇・日数】植田○駅長以下上
 と取り寄せた五千人分の配道々具
 と取り寄せた五千人分の配道々具
 と取り寄せた五千人分の配道々具
 と変練を得ふ事こなり金澤から趣 劍道教練開始

問記念撮影して脱合した『安東電話』 金州の祝賀

懐徳縣の新國

家建設祝賀

銀に避難する管管である殿井氏會 銀に避難する管管である、萬一の場合は陰 ない既態である、萬一の場合は陰 ない既態である、萬一の場合は陰 の場合は陰

数萬人脈の建國祝賀式

大いでは長の東京、市がかりません。 のでは、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、十日年前十一の では、1日本の では、1日

に兵匪潜入 八續々避難

衣隊鮮人家屋に放火 かつたのに附け上りますとないかでいないでは、かったのに附け上りますとない。

早春の海軟風に

新国家諸洲國の五色族は街・谷所 らしげに繋出されてゐる、新國家諸洲國の五色族は街・谷所 らしげに繋出されてゐる。 新の線を添してゐるが九日門市を 入れ來つたものださ 『富貴新の線を添してゐるが九日門市を 入れ來つたものださ 『富貴新の線を混乱である。 新五色旗を飜へして 入港した滿洲船。良興

共場に献り萬識を唱へて解説した、 で南鑞門から附織地に出て大和通 りを昭和通りから解前に至り更に が概木町、本町を經て北銀門から會 難りの餘敗ありて行列な整へて會の飛齢ありて一同萬酸を唱へ高脚 は機能長の演説、指導委成制事件合せるが、一同着 新春に於て二千二十六個 立に於て二千二十六個 就空郵便物

の所在判明 井上古內兩名

新しき英靈を祀つた への臨時招魂祭

官や御差遣

飛行機も参加

建國脫賀式 ハルビンの

書取試験に『認識不足』

南東郷の巡査

老人や將校が應募 内地の滿洲行巡查試驗

歴史の間述は三國代徴、作文は現

脚の軍服か着て来るもの 一般で是非さ、環境するもの でという。

皇軍の東部線進出に 東支の貨車の 不安の 半數を持出す 國境都市ポクラに 立の氣の素な在省民に同情しつ、人

一戒する

援の居留民を訪ふ

孤立無

をればある方面から素天の客歌 そればある方面から素天の客歌 人に下命じたのな、輸入組合で 機のて大配性がある方面から素 默つてゐるのな不能がる向きがこれについて素天地元の敵人が いのであって

をしてそのため仕入他説が好く なり、小賣値説も組合統制のた め一定するこいふ工会で大量評 がいいこのここ。

まり信配ってゐない、大連輸入日の大概質を控へ買手は随分勢日の大概質を控へ買手は随分勢

族がきまると 族がきまると 家





る、新國家 に立て、贈 名の自省を待つて居る 上川昭、元教員古内榮司・

井上等の行動もはど外明し、 支那側よりも、響ろソウエート側でない。ないでは、一つて経識に動揺が来して居るのはて仕舞った、然し皇軍の出動に使 付さるの人は全人の東な監測でで、アルトリアレナをて秘密の解決を防いであるのでが、マキカンシのせきで、マキカンシのせきのよりを表していました。

市民大會た開き市長た放逐

せきどめ

ぜんそく

本、越、男重能 『東京十日登』元隆相陸軍中財費族院議員男 一般木蔵安綱氏は戦闘病にて昨日選続に関った 好きの露西亞人が相互に立話

増加され今にも開戦しそうな状態

小兒の百日せき

人のたんせき

結核病たんせき 肋膜のたんせき

が以上もろくへのたんせき息頭には一ぶくのんでも呼吸が悪になるから死ぬ程率いぜんそく延伸でもから死ぬ程率いぜんそく延伸でもなけれる世野の特長として脚散脈を要けてゐるとない安全無線の良寒である。

8

本各

る産

珍

金田教は表表す五世戦が対し、世界と同分五十銭、大日分二四十銭、世界五十二日公三四十銭、世界五十二日大日分四四、使用五十二日大日分四回、使用五十二日大日分四回、使用五十二日大日分四回、使用五十二日大日分一

べ漬豆

田

東京本郷菊坂町五十二東京本郷菊坂町五十二一大連連輸衛戦ニニニのニ大連連輸衛戦ニニニのニ 三二二〇二 第無代進星 同二二〇二

東京風菓子謹製

遊大山道

常松尾紅山仙庵堂 聖徳街三丁目 界各國 羅紗倉厚司 酒類 00

ガトン購買會當籤醬

ぜんそく治療

一六三五七 六五 九 群番番番番

大連市中

天満屋ホテ

電話代表七一五五番

特等(バス附)四·三○ 一等 三・三○

二、五〇

□新滿洲國建設に方り

何率御利用を願ます
滿蒙經濟調査に關する一切

毎々格別の御引立を戴きまして誠に有 が表示して記憶の大業に面して私達日 本人の真實無起すべき時が参りました 本人の真實無起すべき時が参りました を表記した。 を表記した。 が表別の御引立を戴きまして誠に有 が表別の御引立を戴きまして誠に有 が表別の御引立を戴きまして誠に有

、又語〉咽頭カタルせき

▽ぜんそくのせき

滿

洲

を左病に一服試験で見たべつル氏散

▽肺病のたんせき

國

海

洲 國建設

所

が良いでしょう と ま時日へいてしなら 大 〇一一〇二三十一 一 〇一一八ヌ十八 一 一 八 ヌ十八 でしならば、裏百五八百十八 にならば、裏百十八 にならば、裏百十八

五でが良い、 一一一一〇三チ十四 一一九九ル十十四十二 一一九九ル十十四十二 一一九九ル十十四十二

00000

奉天春日町

四平街盆盛路

撫順東六條通

安東縣四番通

鞍山南三條通

開原新市街

連

HI グ専

有田ド

ラッ 後

賣

所

ででするで、元もそのありかはようでです。元もて、祖父をたづれ述ってるたけかを利って、祖父をたづれ述ってるたけで、祖父をたづれ述ってるたけで、祖父をたづれ述ってるの」

もう十五六日に

鬼を云はないでもいいわよ、マ

するさ、よもぎは機みかけて訊いてながら、マリアはさう答へた。とながら、マリアはさう答へた。

完全

記載自に効果を翻は しカンソを記し、ヨコネを切らずに養氣を騙 添する端烈なる羅青繁 で、しかも何等歌作用 で、しかも何等歌作用 を起さず、血液や輸突 を起さず、血液や輸突

あの屋敷た出てから今近何處に

「さにかく漫草のマリアが帰って

◆中國劇「質后罵鵔」連東俱樂部

化して治癒の目的を達

打捨て置かば一身を亡すのみな

一二三四五六七八九十二三去古五五年第三回滿日勝繼春戰(勝五回目) 先

七 城湯

きしはらぎま

日は質の淋病奏主薬は細省内服外として、梅毒等主薬は細省内服外として、梅毒等主薬は細省内服外と

百圓進星

H

任」京都帝國大學文學部教授矢 本講演「滿洲國の前途其使命ご貢 滿洲新國家に寄する夕

满

たから、無職で出てしまつたのないと思った。ないと思った。ないと思った。ないと思った。

織であんた云ってよこし

なつてゐるの

くやうな女ではない。死!マリアへられてあけみは皆んじて郷につへられてあけみは皆んじて郷につ

たのだった。

てるた。よらざは最も強くそれを

だまされ

新葉や新發見の思

療法

らないわれ」 河野想多畵

通り、職太郎があんな器になってかすに此の小台でみつとり働いてかった此の小台でみつとり働いて る――つて、誰か看紙をあげるや「たと、懂くわ。今度は熱心に」

た。よらぎは更にマリアに向つて二三人の女が外にかけ出して行つ は、今暫くお祖父さんに逢い きがはしやいで云ふる。 淋病と體書s併設症

體養の併發を知らずに

去前江平介有中部 白鹿一本二十錢的一 五人樣以上

古野町帝國報前

布養中

然は增進し榮養は完全に吸收せられる。

力の具有は七代

の活用部面を一

層廣くする譯で

め、腸活動が著しく好調になる。その結果食

れると、其の第一日から

非常に消化力を强

仁丹を常用せら

とは、健康の第

一義である。

を强健にするこ

毎度は引立を蒙り

あるのだらうご考へた。土地の人 マリアは確父がほんごに午何處に

かしきりにせんぎしてる人間

きん職すこさが出来なかつた。

放送り 連 JQAK て居つ

以下内地中郷 (六時三十分) りか為しことになり、一時治つたやはない、異毒、糖素の併製にある。 大国親ない病ではない、異毒、糖素の併製症であるから、淋病の薬のみで手當をしない。

※は取れても、傷口の深部に淋漓 のである。手掌の結果、一部の淋 のである。手掌の結果、一部の淋 のである。手掌の結果、一部の淋 を関すいた。その傷口 「かさ気となった場合ない者はない」と云ふ、誰がある。大概の人はい」と云ふ、誰がある。大概の人はいったは、「かさ楽」 青泉のない者はな 西には「かさ楽」 青泉のない者はな 西には「かさ楽」 青泉のない者はな かった。 居るから、いつまで經つても治らない。 は、 も治らない、病治は見を各部を侵 あるから、 淋病が全性すると同時 のながら、 神病が全性すると同時

たるのである。 多いのである。その併戦症に對し病は少い、淋病、骶骨の併戦症が概念には十中の八九まで單純な淋のになると連胝せればならぬ。今のになると連胝せればならぬ。今の 無くなるが、淋病、管海の合併症急性の淋病なれば一思能で淋糸は 部、一墨兩得の繁である。 で袱/あらされば、番架 も 去 で袱/あらされば、番架 も 去

高高

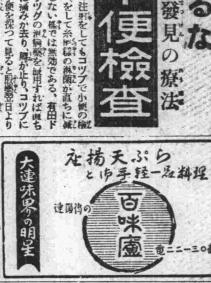
清月

傳染病の豫防、

、七丹は萬全の良策である。

病室の訪問、食中りの

手営等に、



は美

息度

有田田 「有田音松素製」 日有田ドラッグ」 ・ 東京日本構築三 ・ アラッグ」 なこも字こり もの無の物はき文

酒は屬白鹿 た大阪機構 何一人前五十錢 二十五錢

本 銷 大阪內本町二

服薬し、全状の 喜った得られよ。 はするに至る。一日も早く本歌を

英米獨佛醫科大學病院と数所が機管抖載せられ内狩貨衛生就と数所が機管抖載せる優良薬を賦職に違べることをが見せる場合は分が料として白耳能言ド。 中の観覧(スピロペータ)を徹底的 かに二期三期の電話も本郷の選 がによって全身の肌液 特別として推奨してみる標識の根 特質なの結果質要果子で徹底的羅 は変した。その的中的効力は永年の歴 御中食 小鉢物 おでん 限速町一の船賃」 一人前二十錢 院七四二九番 五十五錢 1

ヨコネ、カンソは切らずに治る

電と燃え立つやうな元氣を漏たせる。 B共他 仁丹を服用すれば動の根基である。

かる點に於て、全人獨特の強張効果を發揮する。 べからざる袋養素を乗ね備へて 仁丹は近代醫學の上 に、東洋醫學の極致 を遊した良利である と共に、ヴィタミン

木の芽でむ頃にもなれば、人間の生活力は最 も旺盛となり、體內には生々の氣が漲り溢れ 人間の體も自然の環境に順應する。陽春、草 この時こそ、健康を獲得するに絶好の機會で ある。今仁丹を常用せられることは、真にダ 健康を培 仁丹の常用は、根本的に體質 を改造し、之れを强健化する

幸福に導かねば指かねのである。 効果を發揮して、虚弱を強健に、憂鬱を明朗 胞に能作する獨特の働きは、今、最も著しく 仁丹の微妙な働きー合理的に人體の機能や細 に、沈衰を元氣に、かくして全人類を健康の

イヤモンドを得たよりも貴い。

銀粒仁丹增量藥價

容器附卅錢包(二百五十粒)を 徳川五十錢凾(五百五十粒)を 包(百六十五粒)を 包(八 三百二十粒に増量 四 百五十粒に増量 百 粒)を 粒に増長

徳用瓶入壹圓は 二千二百粒 粒に増量

五三二十 十十十 鼓鼓鼓鼓 一五廿十 十五 間鏡鏡鏡

大懸賞空軍目下大賣出中 草木の芽ぐむ今から

るにも、始められるにも、 今は、仁丹の活用を、續けられ の無二の機會 絕好

を起し、

爽快な成

心氣に適度の興奮

の充實は、人間活

仁丹本舖 大阪市東區天胡町

森 F

博

閣員親任式

折柄

祝賀行列練

り込む・

湯玉麟、張海鵬、羅振玉諸氏

の成立、職立の維続に海郭時代の殿手 をれたく奥へ潰えて行く、新政 をれたく奥へ潰えて行く、新政

今なは激戰中と

顏支那代表公表

聯盟事務局を經て

歌は早朝より押しかけ

人たちの姿を縮子窓越

代花、張熊州、羅城玉氏等の省の大はじめ馬出山、県合、張宏泉、

の分林の間にせまったことを厳密して過ぎたの発があがる、満洲國の王道新政 質ピラル擬心とて過ぎたの発があがる、満洲國の王道新政 質ピラル擬心とて過ぎたの発がの間にせまったことを厳密した。

人類々自動車をつられて出府

また 女人がまれていよく 就依式 かぎる 十月11

大行列を新聞視線にの採はどめ蜿蜒十数所にわたる

か渡る、十時か過ぎると、九川遊

春光輝やく参議府

次次次院院

は寸毫も假借

刊くその歌に安んするな都訳し皆り作品を確りにはといいきる。 居留民保護と租界の安全確保の範圍にその行動を止める方針になる居留民保護と租界の安全確保の範圍にその行動を止める方針に終る、終に除る、終

43手段を探り総外緊急の反繋行動を探るは惹よりだが緊張後は元の線に除る、蘇越忠し、若と敵が指定線内に侵入又は皇軍の攻撃を企てるが命令部隊部會議を朦朧して後のが針につき協議した、軍さしては10川軍司令部

軍部首腦部の方針決

員長長長長長長長長長長長長

各方面から

材を網羅



佛洲國政府 さ閣員を 新 發表 満日紅印刷所 電話 回の回れ後

園公退京期

6

パリ不戦條約等の原則尊重を骨子とするものであって一種與大國側の意向通りに漸く纏める事が出來た、職

事が出來た、職

斯して小園諸代表際起の策動にも描らず

れた決勝彩・日本代表部の受敵型の策略にも振らず日本軍の

内容を緩

南京九日教】外交部は支那各紙

外交部が聲明

長春における河像氏軌政就伝式に 出離とた本性司会館、高鏡線数は 十日午前八時着列車にて帰窓した 『奉天電話』

滿洲は依然

軍司令官總裁

(イタリー)

(チェッコ)

今後さら満洲をわが服闘さ目すべつ横蒙微立整脈に関する記事の取

我版圖

く危機を脱したもの、如くである

ホシュ氏

氏 次の鑑項な骨子さするもので解せ 大の鑑項な骨子さするもので解せ 大の鑑項な骨子さするもので解せ

ヤ代表の案がはで他の大塚のは英代表並にギリシーの確認に止まってゐる

つや、君はや

こんなさらで何をしてゐるん

見せられれえだら

Pe (/ . An.

いさうなると此方は信見てえ

見せれえざなりやアい

足を地面に倒づけにしたがったを地面に倒づけにしたがった。

取りつ取られつくせつ

見せる!」

縮かつたら見せる、

史郎

順三

謎

大勝、こいつだけは不

が不戦條約の基本 聯盟規約並にケロ

下元〇團

吳淞守備

寳山城に入城

上海學校開校

四十日ぶりで

提さ非常に懸念されてゐる

だまポンクール氏 大モッタ氏

國際航路の映版を扼する吳淞一帯、後市舎部と共に寳川駅城に入城に入城に

れてゐた共同租界工部局パブリツ

リー大将は一昨日の白川司令官の一各小學校も開校報館中である『上海十日簽』英艦隊司令長官ケー院校したが日本人職業、安慰を

たが日本人職業、女學校、

大將

保持しボイコツトを 一、國際條約の神聖を 別が 別定した からざる事を をの使害の許すべからざる事を をの使害の許すべからざる事を が見した が見いである。 が見いの、本本 のでは、からだる事を がりになる事を がりになる事を

ポリテイス(インタリン委員)

ヘイギリス ・ (ギリシャ) ・ (スエデン) ・ (スペイン)

「他所へ持つて行くつてり

▲第一分科委員會の職機れたの如し

員會〈各決議案成次

「ナ、何んでもありやアしない

ない。

イルデ

ニシテイマス

ちょつさ他所へ持つて行くも

朱仁熈が怪獣さうに立つてゐた

意におぼつかない日本語で、

・ヴ九日發】分科委員會

吉五郎は追窮した。

顏觸

分科委員會の

「値をしてゐたつて可いなやアな」

の態度な否認せん

云ひ云ひ抱えてるた色物で、大

É

表からなる小委員會表からなる小委員會

似然居留民保護範圍

止並に日本軍の撤退を委員會は戦闘行為の停事委員會は戦闘行為の停 ▲第二分科委員會への附託事項 執行すべき委員會への附託事項 整理)委員

事

「何故さ、何うしてだ、此方の時

「ナニシテイマスカ、コンナト 核関を止めて突つ立つた。

現地に圓卓會議を開現地に圓卓會議を開発上海の質項後上海の て専ら居中調停に努むて専ら居中調停に努む ▲山西恒郎氏(渦鑾蹕事)同上 十時着列車で帰連の筈

「さうさ、其方は勝手だらう。 ITO

前に集合、 ◇殿瀬川泉江。

Fの全般につき権限を有するも 第四項に依る委員會は日支給

君臣の心中終するに縋る、 を関へ「無駄を書いて満洲號へ皆で戦金しませう」さある。

我立場諒解

九日登」標で代表は

希兩國は

ユ・ホテルにおいてイギリス代表、サイモン氏さ會見、總會決職教師サイモン氏さ會見、總會決職教師

ものはいつも困る。 國際職割総合の決議文、ごうや 「勝手ぢやア無いつて、ち

諒解し事ら聯盟規約、 一覧の表面であるさ、一が九山正午までに較 であるさ、一が九山正午までに較

あるさ、一が九山正午までに輸収の時のものではない、政命的のものではない

「見せられれる物を持つてゐるん へえ、驚いたなあ。やけ 型が、さうです、市太郎が、髪な 門ナーニれ、紫仕脈さん、この野 此處へ来たさころであつた。 此處へ来たさころであった。 アいれえし 「あれることがあるか、現在手に

影(下右)式典な了へて

毛 賣

におちついてるヤアがろ

「持つちやアるれえよ、この通り

殿穏、他にも持つてはるなかつ

ナニ云やがる、こん音は一見せ

思い知った

さ市太郎は云った。

勝ち終ったやうに市太郎は云

し、音え上げ

巨大な意動を変んで行った。

いけないんだり見せら







大計 ラ見

學館 省維 オ祝ヒ號進 訓 本誌

州縣東京寫眞學校紫紅紫

美術金属と各記合省印製作会名

御拂込ハ(振善東京三六番 満蒙鐵兜 金四拾錢也 拾三钱 **篠金** 馬町前丁月九曜日 八御希望ハ御相談ニ應ズ

三軍鐵兜 柄澤 先生

金多拾五錢也

屬美品制記念置物文鎮(養匠音舞廳)

三百六十五たびの製 教とを表して、 海洲上海出征ノ将兵ヲ守ル鐵雷 佐等生 ニハ小學館獎學賞ヲ連 コイコトオタヨリ募集 三色刷ノ面白ク而モ學習的ナ新 三色刷ノ面白ク而モ學習的ナ新 三色刷ノ面白ク而モ學習的ナ新 三色刷ノ面白ク而モ學習的ナ新 勉強シヲリヲオ贈リシマ年生入學才祝ヒ品贈呈 白の豫智復習が出來が 旧輪 學習的ナヤ 筆デス

陸軍記念日の祝賀式

忠然塔削で

(日曜金)

盛大な観兵式が行ばれた。之れよ郷室宇備隊第一大隊長指揮の下に

日

か終りそれより参列者一同は忠端で で削々さ 閣場され十時四十分頃式 て國際は、二名の少女の手に依つて、「大人の奏樂が行はれ、それにつれて代の奏樂が行はれ、それにつれて、「歌」に驚り音樂隊の君はれたが、「歌」に驚り音樂隊の君は年前十時代より國際歌歌、武が行 終了した『受いる」という。 るラッパの音に莊殿なる分郊行進 チャッレ 71に繋がし之れに對し続って鄭煕だ 日の歌に聞ちて意教派き陸軍記念 日の歌に聞ちた 勝、在郷軍人、鄜業県校生徒の腰一時四十分批総な空中ペーチェント 哈市の記念日

悟も滿洲國越跨殿貨第一日に相當。 戦闘管環影響は観衆三萬人に達し

ルビン

北滿

ふか

前十時より五十餘の際艦は蜿蜒長筋の列をなし関旗を振い繋しなが、大飛び場だる市内目 ストルピン十日登」徐望された滿 歌地新の大架も完成して述に新國 家は逃聴され三千萬民衆が一致趣 家は逃聴され三千萬民衆が一致趣 北瀬の程息に脱翻さして職へり午れ、中日全でき祝典製行の日は來た、十日全 行はれるが張學良の便衣除潜入し ではれるが張學良の便衣除潜入し つ盛観を禁じて居る 表するが今や市民は新興國家の郷 はひである チチハル ハル十日数一常地に於け

能罪れ取調中である。 ・ 選手のでは、第一である。

等の大魔場に集合、三十四歳の歌 を失戦に百味の戦艦の一大デモに を失戦に百味の戦艦の一大デモに を失戦に百味の戦艦の一大デモに を大戦に百味の戦艦の一大デモに を大場が盛大に役はれて空前の歌ば て三日間ぶつ通しに全転の職意を「り氣分標途しチチハル米管有遊行を行い五十萬の市民は候業し」夜會を行ふ豫定であるが全市 である。それでも市中勤地五色族 機能能最ありこの懐報でいる形置金 である。それでも市中勤地五色族

にあた。 「東京特闘十日韓」皇后陛下には長くも市外大久保の陸軍衛 においる。 で病院に収容中の資傷者のため親く同院に行啓御線問題でき で病院に収容中の資傷者のため親く同院に行啓御線問題でき である。 された、怪盗は市内

畏く

皇后陛下

衛戍病院に行啓

貧傷者を御慰問

二十數件は少額ながら現金専門の本月四日代見塗校が百味間で其他 巡捕宿舍に盗難

贓品仲買屋の手先き

示威行軍を関兵した

天氣微歌

淡尿皮屬

遂に悪運盡きて捕る

北西の風 晴一時雲

頭痛

直通電話開通

金音圏は一四四圏七五銭

けふの小

風潮險惡化に鑑み 全國の警備や充實 職者記官長より内容、記法、祝答 「原答賞を総合して全国的に監察監 能心養婦せしめる必要を認め返 「解答賞を総合して全国的に監察監 命じこれらで總語しその實施を急ぐ 解答賞を総合して全国的に監察監 命じこれらで總語し、健康を聚る 解が監合に提出しその實施を急ぐ 原答賞を総合して全国的に監察監 命じこれらで總語し、健康を聚る の質施を急ぐ 關係機能を綜合發揮

 (\Box)

5満洲建國の第二日

総山を挟んで猛跳して行はれた滅蠟 地或防腹より開始され、中央公園 が明け切らの感像を衝いて先ろ能 で明け切らの感像を衝いて先ろ能 で野外談智は十日午前五時、表 で野外談智は十日午前五時、表 で明け切らの感像を でいて先ろ施

意義深い祝賀式擧行

た陸軍記念日

新滿蒙

青訓生等の

聯合演習

年記念日に根でするので高銀では 年記念日に根でするので高銀では 一味を図月一日は高線館立二十五周

日本の質素は砂質を進めてゐたがその後漸濁などもお祭本がに起ての配際は全然中止の質素は砂質のみに起らすべ年通りの質素は砂質のの質素は砂質のの質素は砂質のの質素は砂質のの質素は砂質のの質素は砂質ののでは、 1 0 では、 は、対してある、即ちかって吹されていない。 といっている。 いっというないのである、即ちかって吹されていない。 といったいない といったい といったい といったい というない という というない というない というない というない というない というない というない というない というない とい

繩張り擴張中捕はる

東京市赤坂區青山東京市赤坂區青山東京市赤坂區青山東京市赤坂區青山東駅の一大学木駅地の一大学大駅である。 機のあべく飛んだ 神会の新天地に不 神会の新天地に不 神会の本郷大へ

でいまや天津は危険な空氣のうちに、 起するのではないかさ花間噂され

完全に奪はれた張學良はせめて北おかれてゐる、一が滿洲の土地を

等はれた張學良はせめて

る

御召物のシーズンが参りました。

御婦人方の御旅行や御結婚の御仕度は。 御安心の出來る

トなスタイル自慢の

婦人洋服專門

リリ

に御用命下さいませ

大連市西廣場(土田寫真館際)

IJ

長井印刷所

吹きかけては他間 ほどの不良少年 を を 様符してゐること な を はどの不良少年 歌 飲み廻り、若い者が父の金二百四十四 さた大連署加事 園を引出して來 見れば喧嘩を

野麻が事が取押 名が渡速町は 製し盛んに暴い影響へ浴せ領事館 如ロツテルダムの日本領事館な護 かれ 日午前共産業員の一味が突 な 日本領事館に 共產黨員來襲 あるが塘冶より軍糧城、 支の地盤のみでも聞めやうさ るが婚治より軍糧城、更に天津のに着々戦備を進めてゐるがそのに着々戦備を進めてゐるがその既不さに不明でのは今後にあるか未だに不明でのは一般があるが、

本は常山脈蛇を三 本得た 正蔵に「打倒帝属主義日本」を徐つたが警官隊の出航で車を徐つたが警官隊の出航で車を徐つたが警官隊の出航で車を徐つたが警官隊の出航で車を徐つたが警官隊の出航で車を徐つたが警官隊の出航で車 日にいたる間には今日では既に立派を、一番をが繋がれてゐると従って自動をが繋がれてゐると従って自己をして上下してゐると云ふ 實行委員會製鋼所期成

キユービー

マヨネーズ

昭和默爾所州內設置期成同盟會 質行委員會を開催 京する仙波氏を上京委員に推薦、上京中の熊谷氏および近く上、上京委員推薦の件 故思田副會長に對し用慰金贈 の件

には梅のほふべた、

柳のまゆぢり、

蘭花の口

に喫茶店『ナツメ』を開業致しました。

大同滿洲國獨立の建設に氣も

心もよみが

お接待な

大連の全小學校を

片端から苦

廻る

窃盗三十

餘回逐に捕はる

春のピクニックにも 毎日の御食膳にも

な協議するさ

動資金募集の件

なる被害校は昨

校が八十餘圓、

○師願將士を動門俗も當口が陸軍飛行機にて強着續いて機かなる映 阿南侍從武官 入院の應需

高 眞曲浪

京 當 3

後 五 開 場 劇

皆樣何卒御ひいきに御願ひ致します。 がお待ちして居ります。 るご言つた様な可愛い 大連市連鎖街東亞煙草前 無邪氣なサー ビスガ

奉天近郊 匪賊の出沒頻

り奉天墨では非常召集を信ひ市内の大蟹成をならた『奉天電話』と大北門附近に違つて來たので、わが軍警は直に出動と重機關錠を東新に緊逐した。なほ午前六時や環郷條溝附近にも二百名の販売取扱したのでわが電響は直に出動と重機關錠を東新に緊逐した。なほ午前六時や環郷條溝附近にも二百名の販売取扱・政場とで、なほ午前六時や環郷條溝附近にも二百名の販売取扱・で、おは、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、わが軍警は直に出動と重機關錠が乗りたが、は、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、おいて、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、おいて、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、これで、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、これで、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、これで、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、これで、これで、一十日午前四時ごろဆ索線を持つで、これで、一十日午前四時ごろဆ家線を持ついた。

滿鐵品用年記念 平年通り質素に に祝賀

靈地旅順の感激

白玉山上で招魂祭擧行

續いて聯合模擬戦

街路はまた五米おき「祝滿洲園」を以て裝飾を施したためきねがらる、 さ記せる燈籠を新

新天 入込んだ不良團 五米おき「祝滿洲國」 八地目差して

十月三

長春

陸軍記念日

を表しいらず同三十七回陸軍記念日 を表しいらず同三十七回陸軍記念日 を表しいらず同三十分派山市長以下 を表しいらず同三十分派山市長以下 を表しいらず同三十分派山市長以下 を表しいらず同三十分派山市長以下

國旗揭揚式と觀兵式

チチハルの記

年

七

和

新的の称さで選れる二種類がある)でこれには夜間は色さりたり の電氣を以て飾つたがそれを見んの電氣を以て飾つたがそれを見んの電氣を以て飾つたがそれを見んのの電氣を以て飾りに、かくて十 しその間煙花。絶えず打揚て駅 命するや振鈴な以て會式を始るの参列者があった、定数全 順置し総るや全員三乗、滿 おいて滿洲画の執政就伝 したが日本側より 民族の萬歳を三唱し

天津愈々

不安加る

天潮丸の土産話

下荷役に差支へない限り体製・大連単戦事務所においては十一日 埠頭明日休業

上買御省内宮宗尤陽 甘 222283 御忘れなく 栗を

三月九日 多數御参加を請ふ 一日 期し、一大祝賀會を開催せんとする左項御承知の上一日 期し、一大祝賀會を開催せんとする左項御承知の上浦洲國ハ建設を祝福し其健全なる發達を期するため三月十

本は、 大田清三郎方にあり)申込〆切十日午前中 大と家時中級貿宴會開催(絵順出版)会費金五拾錢(會券は市役所議長室內及西通 を後家時中級貿宴會開催(絵順出版)会費金五拾錢(會券は市役所議長室內及西通 を後家時中級貿宴會開催(絵順出版)会費金五拾錢(會券は市役所議長室內及西通 を後家時中級貿宴會開催(絵順出版)会費金五拾錢(會券は市役所議長室內及西通 を後家時中級貿宴會開催(絵順出版)会費金五拾錢(會券は市役所議長室內及西通 を後家時中級貿宴會開催(絵順出版)会費金五拾錢(會券は市役所議長室內及西通 を後家時中級貿宴會開催(絵順出版)会費金五拾錢(會券は市役所議長室內及西通 をという。

大連汽船株式會社 電話代表四二八五番電話七二七五・七八六八番 電話代表四二八五番電話七二七五・七八六八番電話七二七五・七八六八番電話七二七五・七八六八番電話代大連市伊勢町) 電話代表五五五四番

一三五五**圆** 神戶行 和洋洋食食食

四月廿五日早朝大連著四月廿二日正午神戸養 三月廿二日午前十一時大速簽三月廿四日早朝門司着正午簽

至急報はこの倍額のこさ 大連ハルビン間同二個三十錢但 ハルビン間 整通通話料一個天電話』 門司、神戸行 放强 飲强 連 丸

典田時訂宮

組立の簡單な値段の安い 9 午 市連和

京

Ξ 月 日日 ょ

◇大飛行船◇

カつぼを向いて、腫れた機に戦つ などがらいて、飛頭を無でながら こた。若い内はあり勝ちの事ですった。若い内はあり勝ちの事ですったが人物らしい、頭の先げた五 へ進み寄って、禿頭を撫でながら、此人は、旅仕度の鑑、特別が 事は程が行み込んで居ますから 緒に上つて来 つて、戦くする 頭の禿げた五

たい」 できるるから、お合みを願い できるるから、お合みを願い できるるから、お合みを願い でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 できるるから、お合みを願い できるるから、お合みを願い でい。 でい。 できる。 できるるから、お合みを願い できる。 せて、黙黙小僧のやうに、クッさ

を 「有能っこざいます」

「有能っこざいます」

「有能っこざいます」

「有能っこざいます」

「有能っこざいます」

「もいっしゃ で上吹されるフォックス・トーキーで上吹されるフォックス・トーキーで上吹されるフォックス・トーキーで上吹きれるフォックス・トーキーで上吹きれるフォックス・ムー・ニュース「満洲の様」は他の 表通りへ出ますか

本手 内四段 全市川 一郎 「岡は三九飛迄の局面」 ●市川氏 特制 角銀歩四ツ ●市川 一郎

精選新 棋 戰 [共六]

がおけてオックス・トーキー・ニュース「満洲の篭」一巻の四つでカカが様に登壁が集みがけり窓に

はなく整造の無いがテコポコで製 れて落ちたのだ」さ▲でお客は「 れて落ちたのだ」さ▲でお客は「

中川五場

が1ト・クーガン岩淡の「スキビバート・クーガン岩淡の「スキビイ」九巻コロンピア 越特作映画 へ フランク・キャブラ

レヴュー駅の某職が監夜早速30 が時も時さて皮肉なこまではないが時も時さて皮肉なこまではない ーン撮影班が製作

常時職やかなりし臓巣臭が得意論でもものであるが▲この議職には

野戦の処く脳和會館ではウエスタン・エレクトリック式トーキー装が完成したのでその完成披露の型に対するが上映な画も野戦の切くパラマウント特作映画(登號のオ名優ジャッキー・クーバー・ログ監督 協和會館トーキー装置 完成披露映畵會 いよく本日より三日間開催

るるから、御出立の御用意が願ひるるから、御出立の御用意が願いさ思はれるので、挑る事は危險かさ思はれるので、挑る事は危險かさ思はれるので、挑びる事は危險から強の主人に話ならてま

要木戸を開いた主人、

るただ手でほんご胸を打つ真似 主人は、合脈、こいふ様に空い

樂は、默つて駐手を上げ

文藝漢曲壇の京山園造さ女流波曲 京山川道打大會

大野に呼んでゐる人の聲。

って、頭を檻にすり附けながら、 電のみをそうつさ発出した。 金包みをそうつさ発出した。 ましては……、ありがさうござい ます。では、道手の見えない内に ます。ま、主人は二人の手帯物を持つ で、主人は二人の手帯物を持つ

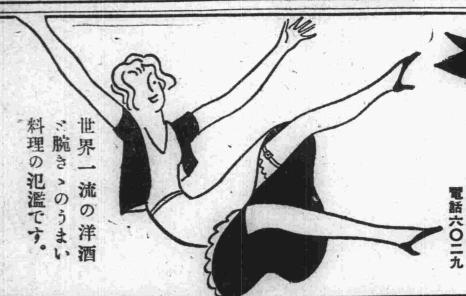
上優秀なるものに驚話を呈するさど「の撮影會な関係では本月他會にて互懸の定で尚作品は本月他會にて互懸の定で尚作品は本月他會にて互懸のをである。 立祝賀會」の解材の下にメテースの成立な記念するため「新國家成大選がテー俱樂部では諸洲新國家成 記念撮影會を開催大連バテー倶樂部 俱樂部では滿洲新國家

ながら使の際に潰えて行った。 Rの常性女と近畿の合同温曲機能 ・ ではそれん \ 松速廃塗者を緩緩し でくそれん \ 松速廃塗者を緩緩し でくそれん \ 松速廃塗者を緩緩し ではる事に決定一行は若手新 地の概念は渡世界の掘出者と云ふ でくそれん \ 松速廃塗者を緩緩し で、とれる \ 松速廃塗者を緩緩し で、といる。

々赫聲名 3 T

公惠千村花●子里達伊●雄達藤齋●耶太新口瀧●子弘崎川●☆共●に覽御が人なんとでま方のりよ年おらか達樣子おの歳五四うとすでれこは一キートの慢自田浦るかづあにめほおてい て見く白面もてまいる下賞觀度 ぞ





大連市レ

0) 曙か 處は 3 かっ が 9 は常春 あ کم n

明る の國際的カフェ い氣分本位

るいサービスは、断 ミス・ダイレンの明 いカフエの中に・ 暗いエロ・グロの

然光を放ちました。

ミス・ダ すばらし いつも

いの小供デ

木)物し催の晩今 肉彈三勇士 太

0 が

日公開 リ六十 時時华华

D

より三 B

11 日の番組四はり

☆☆ ●演公園ーユビレ星金

●つ三篇華豪ふ願さ花

中道君名

网络完演主郎三光門權光寺項告

線戰職就

制活代现底主子挂给十五人秀隼

代 時 風 旋 ● ● 翡蝉R時演主子澄木鈴● 質問草

世町 四六五五·四八六九番

日の二日間

フランス製

春のハンドバ

この春のヴオーグを代表する斬新にして高雅な型 明るい色彩いづ れも和洋装ともに調和よきフランス製の逸品が多數輸着致しました

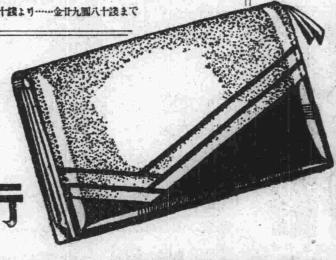
型……型は比較的大きな角型が全盛で ファスナー じめ金は軽快な點で大速散迎され こ れまで養養についてゐました難は今年は内部のポケットに差込み必要に應じてさ り出すやうになって居ります。

一地は草が御然一般向さして割ばれ あつさりさした薄茶・クリームはごの草色がモ ード 其他黒・濃灰等も歓迎されて居ります。

金七個八十銭より……金廿九個八十錢まで 賃---フランス製

フランス製手袋

春の海外出には輕くて瞪起のよい網要の 美しい手袋をお召し酸ひます 御氣持も 異容式」一きり御引立ちょすことます…… 金一四二十錢之月



特産物の輸送は

陥ったのである

五、満蒙に於ける

ついて

満洲農産物需給と

其輸出貿易に就て

重要物產組合長 津久井誠一郎氏

特産三團體主催講演會の要旨四

(日曜金)

撃隊がされ塔兵も続行されて経々、新安値に転落し上海ではわが總攻、新安値に転落し上海ではわが總攻

日米宮替は塗替りの服落を重めて七十二圓に爆發した。そ

內地石炭埋藏量

約百六十億噸を示す

1

急增

大組合でも、この機合を逃しては とさきに新販路階荷經濟院別調査 を目飾さする滿家和窓庁院の調査 表し多大の反響。 ***

一、一庭園は之か日銀引をさらて 情換、市場公募を行はする。 一、七年電音学補環の勢めの電話 に大年度音学補環の勢めの電話 に大年度音学補環の勢めの電話 に大年度音学補環の勢めの電話 に大年度音学を行じ依る振響値 である。

一、一億個は之か日銀引受さ

を 表し多大の反響を建したが更に組 表し多大の反響を建したが更に組 合本來の使命を完全に遂行しその

し一大戦機をなした論彙の新標準をおめ近く組合鼠の座談會を開催した

鈔票相場急落

押目買人氣濃厚

日 長依然さして氣迷の樹城へ脱しないが網方押目覧人氣のだが震咳である。

銀價の昻騰と購買力の増加で 0 輸 注目すべき狀勢

(株) 「 (本) 「

野菜具他組合の方針、組合に繋する単なの北流移動に供ふ組合はのに繋して組合員の處する道、酸電

題に即じ思憶なき

東戸商人

滿蒙進出に努力

今夏の滿洲見本市は

出品者倍加を見ん

消費組合改廢と 輸組聯合の對策 購買力の吸収策攻究

大連輸入組合

上旬貿易入超

千四百八十萬圓

の座談會

一合をトップさら目下來清決定な無い 地よりの視察感、見本市殺到ら見 地よりの視察感、見本市殺到ら見 が成立後の滿繁を目ざらて内

型 三十一弗四分一さ二ポイント引給 を繋が無象分なるが市況遊舎み野米 のであり今一歩引給りな期待され依

が野策さして内地並に在高各機関・機能融の一大海洋野に直館とこれ、機能融の一大海洋野に直館とこれが機能の一大海洋野に直館とこれが機能している。

波瀾を極めた

臨時總會を開催

合をトップごも目下來清決定を標っているとの十指以上に上り今後 施業に非常に購自せられてゐるが 特殊に非常に購自せられてゐるが 特殊に非常に購自せられてゐるが に増して盛況を呈するとのご見ら にでるこが目下該見本市に関してゐるが に地でしてなるが にっこり。 にってるるが にってるるが にってる。 にったる。 にってる。 にったる。 にってる。 にって。 にってる。 にってる。 にってる。

養蜂事業

大豆 昂 艦乗安と買氣で

産紀

時時時

合

熊兵城

マトと

大連移轉其他を附議

りの情報によれば東京が酸に焼てに続いてゐる甲村職合會邮事長よ

斯徐は窓るしく高家進出に力を注ぎ合して を主催の湯洲見本市参加者も例年 を主催の湯洲見本市参加者も例年

滿蒙牛輸送能力

一萬頭に達せ

へ、孟賈三留比された。

ではわが特別陸軍部隊が個々上陸 変加と一が米下院銀委員會調査員 変加と一が米下院銀委員會調査員 変加と一が米下院銀委員會調査員

は取容しされないのではないかさ 脚られてゐるが何れにしても本月 で事情な進めるこことなった

昨曜和六年中における輸出高は一年の地の一萬二、三千城に巻し来におりるり最近兩三年間に放ては、清家生の内地輸出は年々旺盛さな

みられてゐる して年二萬賦に達する

會社銀行

何れも休業

対校と「後にゅ とので上海運送保 こかつ小康な得たので上海運送保

于確程度に過ぎず、これに参期にが、定期総の輸送能力は現在年八

國債現在高

更に引下げ決定 戦時保険割増

及び原田洋艦の照風丸のみである機が存するのは大阪離艦の定郷艦の定郷艦の定郷艦の定郷艦の定郷艦ので郷艦ので郷船

市場、銀行、倉社さり

に二ケ年振で八十国「満洲を際く内地で炭埋蔵域の調査」際前域の二億さなつてあるので二十二日七十七 約十萬国の鎌葉た以てまる昭和四 査完了したので目下之が整理中でためで二十二日七十七 約十萬国の鎌葉た以てまる昭和四 査完了したので目下之が整理中でためて二十二日七十七 約十萬国の鎌葉た以てまる昭和四 査完了したので目下之が整理中で に関し左の駆きが法を以て一部情に関し左の駆きが決をして一部情に分大概省識然一般を計画に接ては関います。 大藏省證券 一億圓借換 七千萬川は償還 日 月物三十一那八分三にて小額の出 み來たれるため氣味密調を逃り三 計 出慮りご相まつて利喰 筋・膏道 下げるに決定し三月十日より性施験を社は、整成の場合人質物の戦時保験を社は、整成の日人質物の戦時保験を対し、生産の場合人質物の戦時保護を対した。

爲替市況强含

を高は、軍位子側) 内側債 一、四十十 外間債 一、四十十 外間債 一、四十十 外に大赦證券 二、四十 十、四十十 十、四十十 十、四十十 十、四十十 十、四十十 十、四十十 十、四十十 十、四十十

电 出来高 二百里 出来高 二百里 出来高 二百里

〇四九三〇

付 大引

八五代 🍑

二四三郊外土地衙八三

五十九圓二十錢 三十一四三十錢

各紙

株(弱保合)

期一、五八

版

苗、

三五 一六六〇 三千枚

の内地輸出は原田汽船の能力を合能力な登庫で得べくかくて滿家牛

度物の如き恐ら

有も共内日本向さらて現に二百萬 を後日本に於ける常産、養郷製の 要は「徐々塔加すべく更に満洲新國 要は「徐々塔加すべく更に満洲新國 要は「徐々塔加すべく更に満洲新國

京和四○六五千枚 - 京和四○六五千枚 - ○一○軍 △-

鈔

先高

保障職党さ

ては年輕級五百萬聴の輸出除力を以上説明せる妮く滿洲特麗物こし

▲偏考、興ミ海里さは同一さも

潰えた東洋史上の最近

二九〇〇 二八八〇 OHIT

七六六一二六二

四三三二二二三三 三五五二六二三三 三五五二六二三三

邦食料問題解決の上に食べるばかりでなく

◆…「幽瀬非故郷、同 である。 のである。 のである。

改成な受けていま の支援な受けていま

全朝倫銀一片安、紅青四分の三 本で、第三さも三十一井四分の 第二、第三さも三十一井四分の 第二、第三さも三十一井四分の を入りの一高、米日三十一井四分の を入りの一高、米日三十一井四分の

(單位施) 852.856.8 × 295.599.5 非混保白眉豆 11.253.9 2.215.4 200.826.1 295.599.5

内地變らず

1 9.258.9 10.747.4 1.872.7 1.526.5 59.521.5 16.313.4 7.884.7 2,946,9 七三約 月月 展 関 3.427.9 1.161.6 267.5 米 29.8 二三值 八二 七五段 1,313,4 453.4 253.7 6.4 348.9 161.0 1.542.6 170.3 6,472.6 4.408.9 9,701.0 7.927.7 1.445.7 1.848.8 108,901.0 12.052.9 粕 1.405.0 1.033.8 354.8 276.1 1.857.6 2.423.9

其他ノ油類 1.436.7 8,826.4 882.2 1,580.8 子 6.058.5 1.021,3

麥燒

小 恵 比 須 町 本

二人校 二町黒大市連大

産婆侃

イキ町三九 電話

户

四 五洋Ш間 0

物美期定式株倍公

三羊商行

日日 · 專獻衛投店(大連教皇町) · 永 · 和 · 公 · 電話七二七五 · 七八六 · 電話七二七五 · 七八六 · 西 · 四六八一 · 西 · 四六八一 · 西 · 四六八一 · 西 · 四六八一

(3) 大連汽船

E 員人

COY

江庄場馬 ルトクド 一阿波共同

八七五八話電·話播盤常連大

三月十三山 汽船

●横濱直行

六六五五五 四四七六五五 七兩兩 二〇〇〇

大阪棉花

新株

横落大阪 **東京** 東橋馬桑

日本

第一回日米 三弗四分二 三弗公分五

大新東新 250 1200 大新東新 250 1210 2510 12120 250 12120 250 12120

村前場寄 前場引

中度麻袋 印度麻袋 一种度麻袋 一种皮麻袋

健金

相場

常市强保

期•

二十二十二二先

世日流汽船鼓出帜 清 為红糖山丸 三月七三日 大阪商船縣武大連支店 電話四二三七番 事風情報所(大連山縣連) 專風情報所(大連山縣連)

大阪株式 株 (050 (050) 新 210 (200) 11040 (11100) 11040 (11100)